SHARP

取扱説明書

パーソナルコンピュータ

PC-MJ150

シリーズ

Mebius

安全にお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。その表示を無視し誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように示しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
⚠ **注意**	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

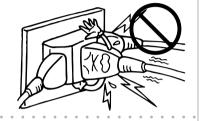
絵表示の意味（絵表示の一例です）

 記号は、してはいけないことを表しています。

 記号は、しなければならないことを表しています。

⚠ 警告

電源は AC100V のコンセントを使用してください。
それ以外の電源で使用すると、火災の原因になります。

電源コードのプラグは、直接コンセントに接続してください。
タコ足配線は過熱し、火災の原因になります。

お客様による分解や修理・改造はしないでください。
故障したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。
また重い物を載せたり、引っ張ったり、ねじったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため火災・感電の原因になります。

万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常が発生した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリパックを取り外してください。その後、お買い上げの販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

本機を持ち運ぶ際は、しっかりと持ち、落とさないようにしてください。
落とすと足をけがすることがあります。

電源コードは、電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

夜間など長時間使用しないときは、安全のために必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

バッテリパックは誤った使い方をすると破裂や発火の原因になります。また、ショートして過熱したり他のものを傷つけることがあります。次のことを必ずお守りください。

- 金属小物（鍵、装飾品など）といっしょにポケットやカバンなどに入れないでください。
- 端子をショートさせないでください。
- 火の中に入れないでください。
- 分解しないでください。

ぬれた手で使用したり、まわりに水など液体の入った容器を置かないでください。
中に水が入ると、火災・感電の原因となることがあります。

本機をぐらついた台の上や不安定な場所に置かないでください。
落ちたりして、けがの原因となることがあります。

目の健康のために、次のことを必ずお守りください。

- 連続して長時間使用される場合は、1 時間ごとに 10 〜 15 分休憩し、目を休ませてください。
- 操作する場所の明るさは、新聞が楽に読める程度（約500ルクス）が適切です。明暗の差が大きいところでは使用しないでください。
- 戸外の光や照明が画面に反射して見えるところでは、使用しないでください。
- ディスプレイは、目の高さよりやや低く、目から 40 〜 60cm 離して使用してください。

長時間にわたり本機底面をひざの上などに直接触れてのご使用はしないでください。
低温やけどをおこす恐れがあります。

⚠ 注意

乾電池は誤った使い方をしますと、破裂や発火の原因となることがあります。また液もれして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因となることがあります。以下のことをお守りください。

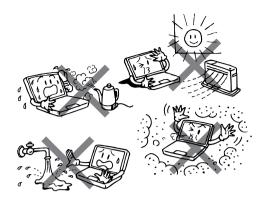
- 指定の電池以外は使用しないでください。
- プラス（＋）とマイナス（－）の向きを表示のとおり、正しく入れてください。
- 電池が消耗したときは、すみやかに新しい電池と交換してください。
- 使えなくなった電池を、機器の中にそのままにしておかないでください。
- メーカーや種類の違うもの、新しいものと古いものを混ぜて使用しないでください。また、古い電池を入れたまま放置しないでください。
- もれた液が体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 長時間ご使用にならないときは電池を取り外してください。
- 端子をショートさせないでください。
- 水や火の中に入れたり、分解したりしないでください。
- 充電池（ニカド電池）は使用しないでください。

お願い

設置するときのお願い

本機を次のようなところには設置しないでください。

変色・変形・故障の原因になります。

- **直射日光の当たるところや暖房器具の近く**
- **温度が非常に高いところや低いところ**
- **湿度が高いところ**
- **ほこりの多いところ**
- **水などの液体がかかるところ**
- **振動や衝撃などを受けるところ**

通風孔をふさがないでください

本機をじゅうたんや布団の上に置いたり、周りに物を置いたりして、通風孔をふさいで放熱を妨げないでください。本機内部の温度が上がると故障の原因になります。

お使いになるときのお願い

本機の上に重い物をのせたり、押さえ付けたりしないでください。

破損・故障の原因になります。

本機を強くたたいたり、落としたり、裏向けたりして衝撃を与えないでください。

本体およびハードディスクの故障の原因になります。

ディスプレイは傷が付きやすいので、先のとがったもの(シャープペンシル、ボールペンなど)でディスプレイ表面をたたいたり、ひっかいたりしないでください。

雷が鳴り始めたら電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、モデムケーブルを本機から抜いてください。

落雷によって本機が破壊される恐れがあります。

ハードディスクが故障したり、データが消失した場合に備えて、重要なデータは定期的に CD-R やフロッピーディスクなどに保存しておいてください。

お願い

持ち運ぶときのお願い

本機を持ち運ぶときは、次の注意を守ってください。

データが失われたり、ハードディスクの故障の原因になります。

- **フロッピーディスクや CD をドライブから出す**
- **電源を切る**
- **本機に接続されている AC アダプタなどの機器はすべて取り外す**
- **衝撃を与えない**
- **ディスプレイパネルを持たない**
- **AC アダプタを携行する**

10℃以上の温度差がある場所へ急に移動しないでください。

温度が急激に変化するとデータの読み書きが正常に行われない場合があります。

また、温度の低い場所から高い場所に急に移動すると、本体内部に結露が発生します。その場合は、電源を入れずに約 1 時間放置して、露（水滴）が完全に乾いてから、ご使用ください。

TFT 液晶パネルについて

TFT液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上が有効画素ですが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素が存在します。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

電波障害に関するお願い

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときには、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分離してご使用ください。
- この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
- 使用されるケーブルは指定のものを使用してください。

お願い

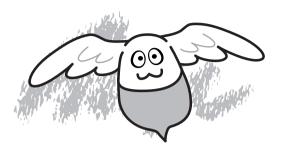
充電式電池のリサイクルご協力お願い

ニッケル水素電池の
リサイクルマークです。

この商品にはニッケル水素電池を使用しています。
この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
電池の交換、およびご使用済み商品の廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。

- ご使用済みの電池は、「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ 商品取り扱いのお店へご持参ください。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。
  - ・端子部にテープを貼る。
  - ・外装カバー（被覆・チューブなど）を剥がさない。
  - ・分解しない。

著作権等に関するお願い

本機種を利用して音楽用CD等各種CD、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を越えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。また、本機種において写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控え頂くことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。

はじめに

このたびは、シャープパーソナルコンピュータをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この製品は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障や不具合がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
付属の「保証書」の定めるところによって修理を行います。

ご使用前のおことわり

- この製品を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。またこの取扱説明書は、いつも手元に置いてご使用ください。ご使用中にわからないことや、具合の悪いことがおきたとき、きっとお役に立ちます。
- 当社は、この製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 当社は、この製品においてソフトウェアを使用された結果に関して、いかなる保証も致しかねますのであらかじめご了承ください。
  なお、ソフトウェアのご使用に際しては、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されているときは、必ずそれらの使用条件をご確認ください。
- お客様または第三者が、この製品の使いかたを誤ったときや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは、記憶内容が変化・消失する恐れがあります。
  重要な内容は、必ずCD-Rやフロッピーディスクなどの記録媒体に記録し保管してください。
- 本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することはお断りします。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

商標、登録商標

・Microsoft、Windows、Outlook、Bookshelfは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
・Intel、Celeron、Pentium は、Intel Corporation の商標または登録商標です。
・K56flex は、Lucent Technologies 社と Rockwell International 社の商標です。
・PS/2 は、米国 IBM 社の登録商標です。
・スマートメディアは、株式会社東芝の商標です。
・VirusScan は、米国法人Network Associates,Inc.または、その関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
・Adobe、Acrobat は、アドビシステムズ社の商標です。
・Ninja は、株式会社アイフォーの登録商標です。
・TempWriter は、デザインエクスチェンジ株式会社の登録商標です。
・筆ぐるめは、富士ソフト ABC 株式会社の著作物および登録商標です。
・Adaptec は、Adaptec, Inc. の登録商標です。
・Easy CD Creator、Direct CD は、Adaptec.Inc の商標です。
・i モードは、NTT ドコモの登録商標です。
・i アニメは、NTT ドコモの商標です。

その他、製品名などの固有名詞は各社の商標、または登録商標です。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。
『国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効果的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。』

準備と確認（この説明書の読み方と電源の入れ方）

この説明書の読み方 14
電源の入れ方・切り方 16

インターネット（インターネットを楽しもう）

インターネットを始める 20
電話回線に接続する 22
使用する電話回線を設定する 25
複数の電話回線を使い分ける 27
発信番号が必要な電話回線を使用する 30
ホームページを見る 32
電子メールを送受信する 34
メール着信ランプでメールチェックする 39

AV（音楽を楽しもう）

音楽 CD を聴く 48
音量を調節する 54
オーディオ機器に音声を出力する（アナログ） 56
オーディオ機器に音声を出力する（デジタル） 57

通信（データをやりとりしよう）

PC カードでデータをやりとりする 62
デジタルカメラの画像を取り込む 63
赤外線（光）通信を使う 64
ネットワークに接続する（LAN） 68
無線でネットワーク（LAN）を使う 70

基本操作（基本操作を確かめよう）

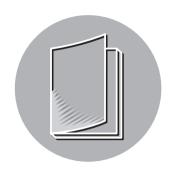
バッテリを使いこなす 72
消費電力を節約する 78
パッド型ポインティングデバイスを使う 82
ワイヤレスマウスを使う 86
キーボードを使う 94
ボタンでソフトを起動する 98
ディスプレイの明るさ・解像度・壁紙を変える 100
CD-ROM を読み取る 104
別売ドライブを取り付ける 107
CD-R/RW に書き込む 109
ディスクの取り扱い 110
フロッピーディスクに保存する 112
音声を入力する 116

拡張操作（拡張操作を確かめよう）

接続できる機器を確かめる 118
プリンタで印刷する 121
外部ディスプレイに表示する 123
ヘッドホンで聴く 129
外部機器から音声を入力する 130
USB 接続カメラで画像を取り込む 131
PC カードを使う 132
メモリを増設する 136

付録

シャープ独自のフォントを使う 142
マウスドライバを変更する 144
セットアップユーティリティ 146
パソコンのお手入れ 155
盗難を防止する 156
故障かな？と思ったら 157
各部の名称と働き 169
さくいん 174

準備と確認

この説明書の読み方と電源の入れ方

知りたい操作からお読みいただけるように、この説明書は目的別の章構成になっています。電源の入れ方と切り方については、この章でご確認ください。

準備 この説明書の読み方

この説明書は目的別構成になっています。電源を入れたあとは、操作したい内容の章からお読みください。

インターネットを楽しもう [インターネットの章]

インターネットに接続して、ホームページを見たい、電子メールを使いたい、というときにお読みください。

音楽を楽しもう [AV の章]

音楽CDを聴きたい、というときにお読みください。外部スピーカで聴くとき、音楽 CD を MD に録音するときの操作も紹介しています。

データをやりとりしよう [通信の章]

データをやりとりしたい、というときにお読みください。PCカードの利用、赤外線(光)通信、LAN 接続など、いろいろな方法があります。

基本操作を確かめよう [基本操作の章]

このパソコンの基本的な操作を知りたい、というときにお読みください。

ACアダプタを外して使用するときは、冒頭の「バッテリを使いこなす」を必ずお読みください。

拡張機能を使いこなそう [拡張操作の章]

周辺機器と接続してパソコンを活用したい、というときにお読みください。

プリンタに接続して印刷したり、PCカードを使って機能を拡張する方法などを紹介しています。

付録

操作中にパソコンが動作しなくなったり、思った結果にならないときは「故障かな？と思ったら」をご覧ください。

「各部の名称」と「さくいん」から、操作説明を探すこともできます。

この説明書の表記方法

この説明書で使用している記号について

記号	説明
⚠ 注意	無視すると、使用者が損害を負う可能性のある注意事項を記載しています。
ご注意	パソコンや周辺機器の故障の原因になる注意事項を記載しています。
	参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。
	知っておくと便利なパソコンの基礎知識などを記載しています。
☞	この説明書の参照ページや、参照する他の説明書を示します。

キーの表示について

キーボードのキーを押す操作では、キーを枠で囲んでいます。

また、複数のキーを同時に押すときは、「＋」でつないで表記しています。

例） **Fn** ＋ **F5**

画面上のボタンについて

画面に表示されるボタン（ OK など）は、［　］で囲んで表記しています。

例） ［OK］をクリックします。

画面上のメニュー項目などについて

メニュー項目や、画面やアイコンの名称などは「　」で囲んで表記しています。

例） • スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックます。
- 「画面のプロパティ」画面が表示されます。

文字入力について

キーボードを使って文字を入力する内容は、太字または「　」で囲んで表記しています。

特に指定がない限り半角文字を入力してください。

例） **FORMAT␣A: /F:1.44**と入力します。（"␣"は半角スペースの入力を示します。）

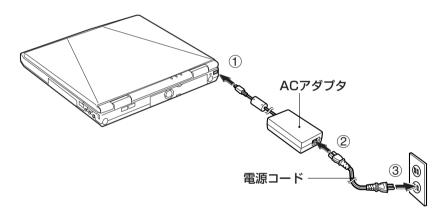
準備 電源の入れ方・切り方

基本的な電源の入れ方と切り方を確認しましょう。
初めて電源を入れるときは、「はじめにお読みください」(別冊) を参照してください。

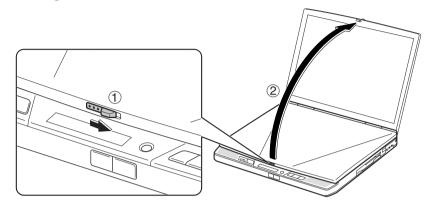
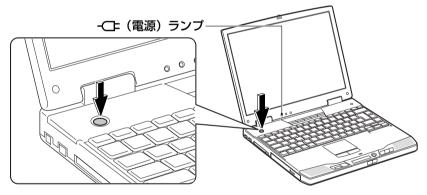
電源を入れる

1 パソコンを電源コンセントに接続します。

下図のように、付属の電源コードと AC アダプタを使って接続します。

① AC アダプタのコネクタを、矢印マークを下にして、カチッと音がするまで差し込みます。
② 電源コードを、AC アダプタに接続します。
③ 電源コードのプラグを、コンセントに差し込みます。

ご注意

- ①②③ の各接続部は、しっかりと奥まで差し込んでください。
- ACアダプタは、必ずこのパソコンの付属品(EA-MJ2V)を使用してください。他のACアダプタはこのパソコンを破損することがあります。

2 ディスプレイ固定レバーを右側にスライドさせて(①)、ディスプレイを開きます (②)。

3 電源ボタンを押します。

ランプが緑色に点灯し、Windows 98 が起動します。

電源を切る

- 、、の各ランプが点灯中は、電源を切らないでください。データが失われたり破壊されたりすることがあります。(☞170、171ページ)
- 再び電源を入れるときは、必ず5秒以上の間隔をおいてください。連続して電源を切ったり入れたりすると、故障の原因になります。

1 ［スタート］をクリックします。

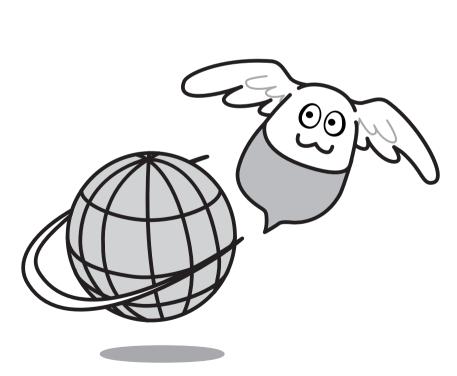
スタートメニューが表示されます。

2 「Windows の終了」をクリックします。

3 「電源を切れる状態にする」をクリックして選択します。

4 ［OK］をクリックします。

インターネット

インターネットを楽しむといっても人それぞれ・・・
世界中の情報を見るだけでなく、チケットの予約やさまざまなショッピングもできます。また、インターネットで知り合った友達とメールをやりとりしたり、ホームページを作って公開することもできます。いろいろ試して、自分らしい楽しみ方を見つけましょう。

インターネットを始める

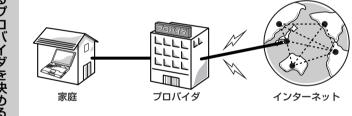
インターネットは、世界中のコンピュータをつないでいるネットワークです。このネットワークを利用して、ホームページを見たり、電子メールをやりとりすることができます。

インターネットに接続するには

次の準備が必要です。

入会するプロバイダを決める

インターネットに接続するには、プロバイダへの入会が必要です。プロバイダは、パソコンをインターネットに接続するサービスをしている会社です。

▼

電話回線に接続する

パソコンを電話回線に接続して、インターネット接続の準備をします。このパソコンは家庭の電話回線を利用して、インターネットに接続することができます。
電話回線に接続する方法は、**電話回線に接続する**(☞22ページ)で説明しています。

▼

パソコンを設定する

インターネット接続のための設定を行います。プロバイダに入会すると、あなたのユーザIDやパスワードが連絡されてきますので、それらを設定します。
設定方法については、各プロバイダの説明書をご覧ください。

初めてインターネットを体験する方には

Sharp Space Townの無料体験コースをお勧めしています。**はじめにお読みください**(別冊)で無料体験申込の操作を済ませた後なら、プロバイダへの正式入会の前にインターネットが体験できます。

電話回線に接続する

パソコンを電話回線に接続するには、付属のモデムケーブルを使って、パソコンのモデムジャックと壁のモジュラージャックを接続します。

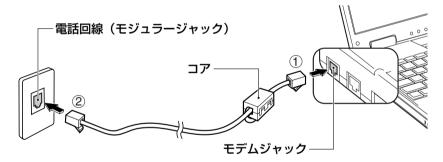
ご注意

内蔵モデムは一般アナログ公衆回線専用です。下記などのデジタル回線には接続しないでください。故障の原因となります。

- ISDN のデジタル回線
- 構内交換機（PBX）のデジタル回線
- 公衆電話のデジタル（ISDN）回線

1 パソコンの電源を切ります。

2 パソコンを電話回線に接続します。

付属のモデムケーブルのコアのある方のコネクタを、パソコンのモデムジャックに差し込みます（①）。もう一方のコネクタを、壁のモジュラージャックに差し込みます（②）。

ご注意 **LAN ジャックに差し込まないでください**

形状が似ているので、よく確かめてから差し込んでください。誤って LAN ジャックに差し込むと、故障の原因になります。

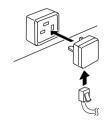
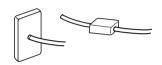
3 パソコンの電源を入れます。

● **モジュラータイプ以外の電話回線で使うには**

3 ピンや 4 ピンの場合には

3 ピンや 4 ピンのジャック形のときは、市販の電話キャップを取り付けてください。

ローゼットタイプの場合は

差し込み式になっていないときは、最寄りのNTTに連絡して、モジュラージャックの取り付け工事を依頼してください。電話工事資格を持たない人が工事を行うことは認められていません。

● **直接、パソコンとモジュラージャックを接続してください**

電話やファクシミリを経由して接続すると、正しく通信できないことがあります。

内蔵モデムを使用するときの準備

内蔵モデムを使用するためには、次の準備が必要です。

- 付属のモデムケーブルでパソコンを電話回線に接続する。(☞ 前ページ)
- 「電源の管理のプロパティ」画面で「システムスタンバイ」を「なし」にする。
- インターネットの接続設定や通信ソフトウェアの設定でモデムやCOMポートの選択が必要な場合は、以下のように設定する。

  モデム名： HSP56MR

  COM ポート： COM3（ご購入時の設定）

内蔵モデムの通信速度について

このパソコンの内蔵モデムは、「K56flex」および「V.90」方式を採用しています。

- 最大通信速度は受信時と送信時で異なります。受信時は56,000bps(理論値)、送信時は 33,600bps です。(bps=bit per second；ビット／秒)

- 接続先（プロバイダなど）が「K56flex」または「V.90」に対応していない場合、最大通信速度は送受信とも33,600bpsになります。

- 電話回線および接続先（プロバイダなど）の状況によっては、通信速度が遅くなることがあります。
- 内蔵モデムはソフトウェアモデムを採用していますので、使用状態によってはPCカードモデムや外付けモデムに比べて通信速度が遅くなることがあります。

ご参考

- 内蔵モデムは日本国内での使用を目的に設計されています。海外では使用できません。
- MS-DOSモードでは使用できません。

モデム

パソコンのデータ（デジタル信号）を、一般の電話回線で送ることのできる音（アナログ信号）に変換する装置です。受信するときは逆に、アナログ信号をデジタル信号に変換します。
ISDN回線はデジタルデータをデジタルのまま送ります。そのため、ISDN回線への接続にはモデムではなくターミナルアダプタ（TA）と呼ばれる別の周辺機器が必要です。

インターネット 使用する電話回線を設定する

パソコンの内蔵モデムを使用するには、電話回線の設定が必要です。
はじめにお読みください（別冊）の「3 Windows 98 をセットアップしましょう」の手順 ⑤ や手順 ⑧ で設定済みのときは、改めて設定する必要はありません。

1 スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「モデム」アイコンをダブルクリックします。

「モデムのプロパティ」画面が表示されます。

2 ［ダイヤルのプロパティ］をクリックします。

「所在地情報」が表示されます。

3 国名、市外局番、外線発信番号、ダイヤル方式などを設定します。

登録名

「会社」「自宅」など、わかりやすい名前を付けると便利です。

国名／地域

「日本」が選択されていることを確認します。

市外局番

使用する場所の市外局番を入力します。

外線発信番号

「0」などの外線発信番号が必要なときに設定します。（☞30 ページ）

ダイヤル方式

使用する電話回線に合わせて、「トーン」または「パルス」を選びます。ダイヤル中に「ピッポッパ」と聞こえるときはトーン式、「ジジジ」または「タタタ」と聞こえるときはパルス式です。

ダイヤル方式がわからない場合は、NTT にお問い合わせください。

4 **[OK] をクリックして「モデムのプロパティ」画面に戻ります。**

5 **[OK] をクリックして画面を閉じます。**

6 **画面右上の X をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

複数の電話回線を使い分ける

複数の電話回線を利用するときは、内蔵モデムをそれぞれに合った設定にする必要があります。たとえば、会社ではトーン式、自宅ではパルス式の電話回線を使うときなどは、それぞれの設定を登録し、接続する前に切り替えて使用します。

新しく使用する電話回線の設定を登録する

1 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「モデム」アイコンをダブルクリックします。

「モデムのプロパティ」画面が表示されます。

2 [ダイヤルのプロパティ] をクリックします。

「所在地情報」が表示されます。

3 [新規] をクリックします。

4 「新しい場所が作成されました」と表示されたら、[OK] をクリックします。

5 「登録名」欄に登録名を入力します。

「会社」「自宅」など、わかりやすい名前を付けると便利です。

6 国名、市外局番、外線発信番号、ダイヤル方式などを設定します。(☞25ページ)

7 [OK] をクリックして「モデムのプロパティ」画面に戻ります。

8 [OK] をクリックして画面を閉じます。

9 画面右上の [X] をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

電話回線の設定を切り替える

1 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「モデム」アイコンをダブルクリックします。

「モデムのプロパティ」画面が表示されます。

2 [ダイヤルのプロパティ] をクリックします。

「所在地情報」が表示されます。

3 「登録名」の [▼] をクリックし、利用する電話回線に合った登録名を選びます。

4 [OK] をクリックして「モデムのプロパティ」画面に戻ります。

5 [OK] をクリックして画面を閉じます。

6 画面右上の [X] をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

インターネット快速便を使ってワンタッチで切り替える

付属のインターネット快速便（インターネットサポートソフト）のネットチェンジャー機能を利用すると、電話回線の設定をワンタッチで切り替えることができます。ネットチェンジャー機能を利用するには、インターネット快速便の「かんたん設定」で必要な設定をしてください。（☞ インターネット快速便のヘルプ）

インターネット快速便の「かんたん設定」を起動するには

あらかじめ電話回線の設定やインターネットの接続設定を済ませて、スタートメニューから「プログラム」ー「SHARP インターネット快速便」ー「かんたん設定」をクリックします。

発信番号が必要な電話回線を使用する

内蔵モデムを使って構内交換機（PBX）から外線にダイヤルするとき、「0」などの発信番号が必要な場合があります。発信番号が必要な回線を利用するときは、次のように設定してください。

ご参考
下記の設定を行っても、インターネットに接続できない場合は、外線直通の電話回線に接続してください。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「モデム」アイコンをダブルクリックします。**
「モデムのプロパティ」画面が表示されます。

2 **[ダイヤルのプロパティ] をクリックします。**

3 **国名、市外局番、外線発信番号、ダイヤル方式などを設定します。**

外線発信番号

「0」などの外線発信番号が必要なときに設定します。「0」に続けて「,」（カンマ）を入力しておくことをお勧めします。「,」（カンマ）を入力しておくと、構内交換機（PBX）が外線に切り替わる間、次の番号をダイヤルせずに待つことができます。「,」（カンマ）の数を増やすと待ち時間が長くなります。

外線発信番号以外の項目

（☞25 ページ）

4 [OK] をクリックして「モデムのプロパティ」画面に戻ります。

5 「HSP56 MR」が選択されていることを確認し、[プロパティ] をクリックします。

6 「接続」タブをクリックし、[詳細] をクリックします。

7 「追加設定」欄に「ATX3」と入力し、[OK] をクリックします。

8 [OK] をクリックして「モデムのプロパティ」画面に戻ります。

9 [閉じる] をクリックして画面を閉じます。

10 画面右上の [×] をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

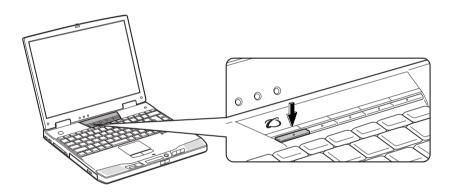
ホームページを見る

ここでは、インターネット接続の基本的な操作と、付属のブラウザソフトの機能について説明します。

ホームページとは

世界中の団体や個人が、情報を発信しているページです。
ホームページの中には、特定のテーマについて、いろいろな人が自分の意見を交換する電子掲示板や、チケットの予約や商品の注文ができるページもあります。
ご自分の興味や関心に合わせて、お好みのホームページを探してみてください。

インターネットに接続する／接続を切る

1 （インターネット）ボタンを押します。

Microsoft Internet Explorer（付属のブラウザソフト、以下Internet Explorerと表記します。）が起動して、設定されているプロバイダのアクセスポイントに電話をかけ、初期設定で設定されたアドレスのホームページを表示します。

次のように操作することもできます。（Windows 起動時）

- タスクバーの Internet Explorer ボタン（ ）をクリックする。
- デスクトップの Internet Explorer アイコンをダブルクリックする。
- スタートメニューから「プログラム」－「Internet Explorer」をクリックする。

ご参考

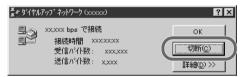
インターネットの接続設定をしていない場合は、「インターネット接続ウィザード」画面が表示されます。そのときは、画面の表示に従って必要な設定をしてください。

接続が完了すると、タスクバーに が表示されます。

ホームページの例

2 **ホームページを見終わったら、 をダブルクリックします。**

「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。

3 **[切断] をクリックします。**

ホームページは表示されたまま、インターネット接続が解除されます。
この状態でゆっくりホームページの内容を見ることができます。
画面上のボタンをクリックしたり、リンクされたホームページをクリックしたりしたときは、必要に応じて「ダイヤルアップの接続」画面が表示されます。

4 **ブラウザソフトを終了するには、 画面右上の ✕ をクリックします。**

電子メールを送受信する

ここでは、電子メール(Eメール)を送る方法と、メールを受け取る方法を説明します。まず自分あてに電子メールを送って、送受信できることを確認しましょう。

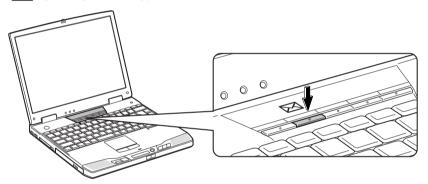
電子メールとは

インターネットを使った手紙です。相手のメールアドレスさえわかれば、世界中どこにいる人にも送れます。

メールアドレスは

契約先のプロバイダに作った私書箱のようなものです。

電子メールを送る

1 ✉(メール)ボタンを押します。

Microsoft Outlook Express(付属のメールソフト、以下Outlook Expressと表記します。)が起動して、設定されているプロバイダのアクセスポイントに電話をかけます。

次のように操作することもできます。(Windows起動時)

- タスクバーのOutlook Expressボタン( )をクリックする。
- デスクトップのOutlook Expressアイコンをダブルクリックする。
- スタートメニューから「プログラム」-「Outlook Express」をクリックする。

ご参考

インターネットの接続設定をしていない場合は、「インターネット接続ウィザード」画面が表示されます。そのときは、画面の表示に従って必要な設定をしてください。

2 **ダイヤルを始めたらすぐ［キャンセル］をクリックします。**

メールを書くときは、インターネットに接続する必要はないので、ここではキャンセルします。

3 **確認画面で［OK］をクリックします。**

4 **［新しいメール］をクリックします。**

5 **宛先、件名、メッセージを入力します。**

宛先（メールアドレス）は必ず半角英数字で入力してください。

複数の人に同じメールを送るには、メールアドレスの後に「,」（コンマ）を入力して、次の人のメールアドレスを入力します。

（入力例）

6 **［送信］（送信）をクリックします。**

パスワードの入力画面が表示されます。

7 **パスワードを入力し、[OK] をクリックします。**

インターネットに接続し、メールが送られます。
接続が完了すると、タスクバーに が表示されます。

8 **メール送信が完了したら、 をダブルクリックします。**

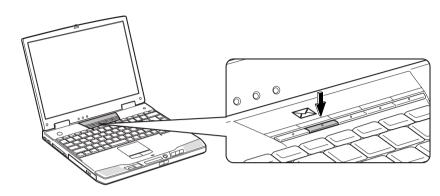
「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。

9 **[切断] をクリックします。**

インターネット接続が解除されます。

10 **メールソフトを終了するには、画面右上の をクリックします。**

電子メールを受け取る

1 ✉（メール）ボタンを押します。

Outlook Expressが起動して、プロバイダのアクセスポイントに電話をかけます。

次のように操作することもできます。（Windows 起動時）

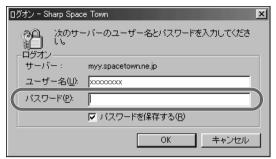
- タスクバーの Outlook Express ボタン（ ）をクリックする。
- デスクトップの Outlook Express アイコンをダブルクリックする。
- スタートメニューから「プログラム」－「Outlook Express」をクリックする。

2 インターネット接続が完了したら、「受信トレイ」をクリックします。

受信用の画面が表示されます。

3 [送受信]（ 送受信 ）をクリックします。

パスワードの入力画面が表示されます。

4 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

メールサーバからメールを受信します。

接続が完了すると、タスクバーに が表示されます。

5 メール送信が完了したら、 をダブルクリックします。

「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。

6 [切断] をクリックします。

インターネット接続が解除されます。

7 メールを読むには、届いたメールをクリックします。

8 メールソフトを終了するには、画面右上の をクリックします。

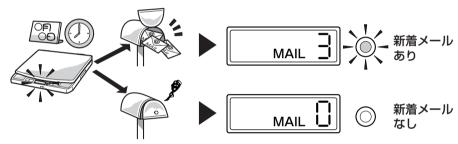
メール着信ランプでメールチェックする

メールチェック機能を使うと、曜日と時刻を指定して自動的に自分あてのメールをチェックできます。また、メール着信ランプ（ボタン）を押すだけで、簡単にチェックすることもできます。

新しいメールが届いていたら

メール着信ランプが点灯し、ステータスディスプレイに着信メールの件数が表示されます。家族や大切な友人からのメールはすぐにわかるように、ランプの色を変えることもできます。メールはチェック時に受信しているので、改めてインターネットに接続せずに読むことができます。

新しいメールがなかったら

メール着信ランプは点灯しません。

メールチェック機能を使うための準備

あらかじめ、次の準備をしておいてください。

- パソコンを電話回線に接続する。
- AC アダプタを接続する。
- メールソフトを設定して、メールの送受信ができるようにする。
- ダイヤルアップ接続と受信メールサーバのパスワードを保存する。
- Windows 起動時にメールソフトが自動的に起動しないようにする。
- セットアップユーティリティと Windows のパスワードを解除する。

ご参考

- メールチェックをすると、新着メールがなかったときでもインターネット接続料金と電話料金がかかります。
- メールチェック機能をご利用になるときは、Microsoft Outlook Express（付属のメールソフト、以下Outlook Expressと表記します。）をお使いになることをお勧めします。使い方についてはOutlook Expressのヘルプを参照してください。他のメールソフトでは正常に動作しないことがあります。
- 電源オフの状態から音楽CDを再生している場合、メールチェック設定時刻になったり、メール着信ランプ（ボタン）を押したりすると、音楽 CD を自動終了し、メールのチェックを開始します。

メール着信ランプを設定する

メールチェック機能を利用するには、まずメール着信ランプの設定をする必要があります。

ご参考

あらかじめ、お使いのメールソフトでメールの送受信ができるか確認しておいてください。

1 メール着信ランプの「かんたん設定」を起動します。

① タスクバーの をクリックします。

②「メール着信ランプ」をクリックします。

③「かんたん設定」をダブルクリックします。

「メール着信ランプ　はじめに」画面が表示されます。

2 表示の内容をよく読み、[次へ] を 2 回クリックします。

3 「メールソフト」の ▼ を押して表示されるメニューから、お使いのメールソフトを選択して、[次へ] をクリックします。

Outlook Express 以外のメールソフトをお使いの場合

「その他のメールソフト」を選択し、[次へ] をクリックしてください。手順**5**へ進みます。

4 **お使いのメールアカウントが表示されているのを確認し、[次へ]をクリックします。**

複数のメールアカウントをお使いの場合は、「メールアカウント」の ▼ をクリックして、メールチェックに使うアカウントを選択してください。

5 **メールサーバの情報を確認し、[次へ] をクリックします。**

Outlook Express をお使いの場合

メールサーバの情報はすでに入力されています。

Outlook Express 以外のメールソフトをお使いの場合

お使いのメールソフトで設定しているメールサーバの情報を入力してください。

6 **指定した時刻に自動的にメールチェックするかを選び、[次へ]をクリックします。**

「自動受信する」を選んだ場合は

メールチェックさせたい曜日と時刻を設定し、[次へ]をクリックします。時刻は1日3回まで設定できます。

7 **家族や大切な友人など特定の人からのメールが届いたときにメール着信ランプの色を変えるかを選択し、[次へ] をクリックします。**

メール着信ランプの色を変えたいときは、以下の手順でアドレスを指定します。

①「追加」をクリックします。

②「追加したいメールアドレス」にアドレスを入力し、[OK (I)] をクリックします。「インターネットエクスプローラのアドレス帳」にアドレスが表示されている場合は、追加したいアドレスをリストから選び、[OK (E)] をクリックします。

③「指定アドレス」欄にメールアドレスが表示されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

Outlook Express 以外のメールソフトをお使いの場合

[次へ]をクリックしたあと、「メールソフトの設定」画面が表示されます。表示の内容をよく読み、メールソフトの設定を終わらせてから[次へ]をクリックしてください。

8 **表示内容を確認し、[完了] をクリックします。**

メール着信ランプの設定を変更する

- 使用するメールソフトやプロバイダを変更したとき、または、別のメールアカウントを利用するときは、もう一度、手順 **1** から設定をやり直してください。

- メールチェックを実行する曜日や時刻、または指定アドレス(メールを受信したときにランプがオレンジ色に点灯するアドレス)は、以下の手順で「メール着信ランプユーティリティ」画面を表示して、設定を変更することもできます。

  「メール着信ランプユーティリティ」画面を表示する

  ① タスクバーの をクリックします。

  ②「メール着信ランプ」ボタンをクリックします。

  ③「メール着信ランプ設定」アイコンをダブルクリックします。

メールをチェックする

メールチェック機能を使ってメールチェックするには、次の 2 通りがあります。

- 指定した時刻に自動的にメールチェックする
- ボタンを押してメールチェックする

メールチェック機能を使うときは、「休止状態」の設定をしないでください。

指定した時刻に自動的にメールチェックする

曜日と時刻を設定しておくと、パソコンが自動的にインターネットに接続して、メールチェックします。

電源オフの状態でも、設定時刻になるとパソコンが起動し、メールチェック後に電源オフに戻ります。

1 メール着信ランプの「かんたん設定」で「自動受信する」を選択し、曜日と時刻を設定します。(☞41 ページの手順 6)

「メール着信ランプユーティリティ」画面を表示して、曜日と時刻を設定することもできます。(☞ 上記)

2 設定した時刻になるとメールソフトが起動し※1、回線接続後、メールチェックされます。

新着メールがあるとき

メールの受信が終了すると、回線切断後、メール着信ランプ(ボタン)が点灯し、メールソフトが終了します。※2

新着メールがないとき

回線切断後、メールソフトが終了します。※2

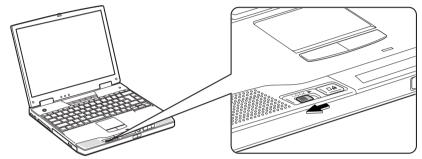
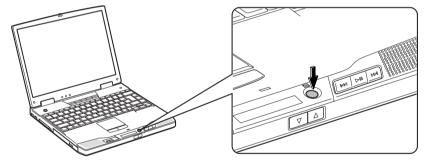
ご参考

※ 1　電源オフ状態で指定時刻になったときは、Windows 起動後、メールソフトが起動します。

※ 2　電源オフ状態で指定時刻になったときは、メールソフト終了後、電源オフに戻ります。

ボタンを押してワンタッチでメールチェックする

メール着信ランプ(ボタン)を押して、好きなときに新着メールの有無を確認することができます。

1 LOCK スイッチを解除します。

2 メール着信ランプ(ボタン)を押します。

しばらくすると、メールソフトが起動し※1、回線接続後、メールチェックされます。

新着メールがあるとき

メールの受信が終了すると、回線を切断し、メール着信ランプ(ボタン)が点灯します。メールソフトは起動したままですので、メールを読むことができます。

新着メールがないとき

回線を切断し、メールソフトが終了します。※2

ご参考

※1　電源オフ状態でボタンを押したときは、Windows起動後、メールソフトが起動します。

※2　電源オフ状態でボタンを押したときは、メールソフト終了後、Windows を終了します。

新着メールを読む

メール着信ランプ（ボタン）が点灯しているときにメール着信ランプ（ボタン）を押すと、メールソフトが起動するので、新着メールを読むことができます。

メールソフトが起動すると自動的に電話回線に接続します。メールチェックしたくない場合は、［キャンセル］をクリックしてください。

受信済みのメールを読むには

メール着信ランプ（ボタン）が消灯しているときに、受信済みのメールを読むには、以下の方法でメールソフトを起動してください。

- Outlook Express を使用している場合は、クイックスタートボタンの ✉（メール）ボタンを押す。
- タスクバーの Outlook Express ボタン（ ）をクリックする。
- メールソフトのアイコンをダブルクリックする。
- スタートメニューのプログラムからメールソフトを起動する。

メールチェックの結果を見る

メールを受信すると、ステータスディスプレイとメール着信ランプ(ボタン)で次のようにお知らせします。

ステータスディスプレイ

メール着信ランプ(ボタン)

オレンジ色点灯	:新着メールあり(指定アドレスのメールあり)
緑色点灯	:新着メールあり(指定アドレスのメールなし)
消灯	:新着メールなし

点灯しているメール着信ランプ(ボタン)は次のときに消灯します

- Windowsを起動したとき(受信をお知らせするメッセージが表示されます。)
- メール着信ランプ(ボタン)を押したとき(新たにメールを受信した場合は、再び点灯しますが、メールソフトを終了すると、ランプは消灯します。)
- メールソフトでメールチェックしたとき

ステータスディスプレイの新着メール数は次のときに消えます

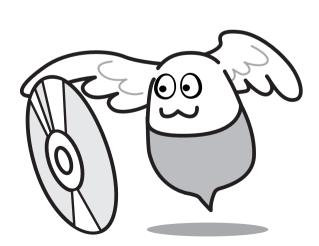
- メール着信ランプ(ボタン)が消灯したとき
- CDの操作を行ったとき(再生ソフトの起動/終了を含む)※
- 再生中の音楽CDのトラックが変わったとき(電源オン時のみ)※

ご参考

※ メール着信ランプ(ボタン)は点灯したままです。電源オフ時は、Windowsを起動すると新着メール数が再表示されます。受信をお知らせするメッセージに答えると、メール着信ランプ(ボタン)とともに新着メール数は消えます。

音楽を楽しもう

このパソコンでは、音楽CDが専用のプレーヤと同じ感覚で操作できます。
この章では、音楽CDをMDに編集するときの操作や、外部スピーカで聴く方法についても、説明しています。

音楽 CD を聴く

音楽 CD をセットすると、再生ソフトが自動的に起動して、操作パネルが表示されます。

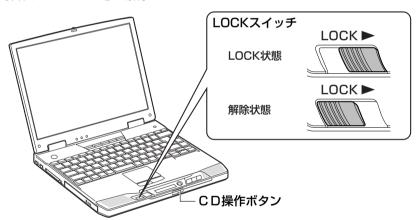
再生できるディスク

下記のマークのあるディスクをお使いください。

CD 操作ボタンについて

- ボタン操作で、音楽 CD が楽しめます。
- 操作状態は、ステータスディスプレイに表示されます。

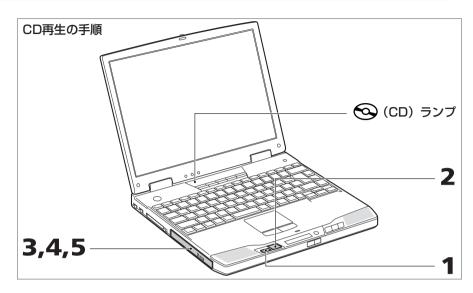
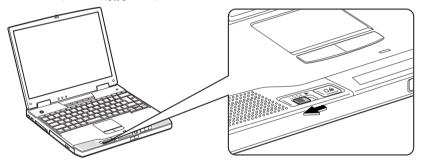
LOCK スイッチについて

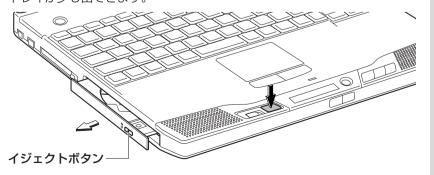
LOCK位置にすると、CD操作ボタンが働かなくなり、誤操作を防ぐことができます。操作するときは、必ず解除してください。

音楽 CD を聴くときの便利な機能

- 電源オフ状態で、CD 操作ボタンを使って操作できます。
- ディスプレイを閉じた状態で操作できます。

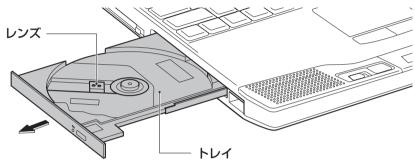
ご参考

- CD 操作ボタンで操作するためには、Faith Multi Player FX-77（MIDI/CDプレーヤーソフト）が必要です。（プリインストール済み）
- 外部スピーカで聴くときは、**外部スピーカで聴く**（☞56ページ）を参照してください。
- ヘッドホンで聴くときは、**ヘッドホンで聴く**（☞129ページ）を参照してください。

音楽 CD を再生する

1 **LOCK スイッチを解除します。**

2 **ランプが消えていることを確認し、 ■▲ ボタンを押します。**

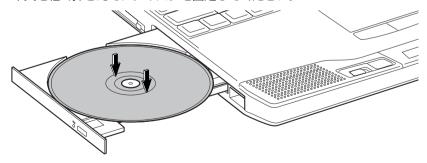
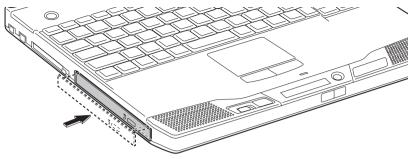
トレイが少し出てきます。

ご参考

- イジェクトボタンを押して、トレイを出すこともできます。
- ディスクをセットしていないときに、ランプが点滅することがあります。これは Windows 98 の CD の「挿入の自動通知機能」が働いているためで、故障ではありません。

3 トレイを、止まるまでゆっくり引き出します。

ご注意 レンズに手を触れないでください

レンズが汚れると、故障の原因になります。レンズを拭くときは、糸くずの出ない綿棒で軽く拭いてください。

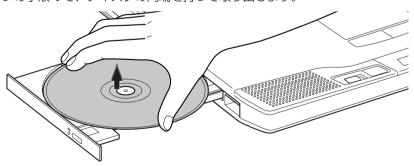
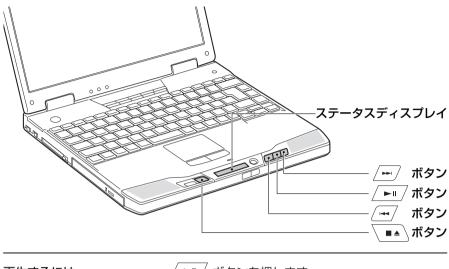
4 ラベル面(文字が印刷されている面)を上にして、ディスクをトレイに置きます。

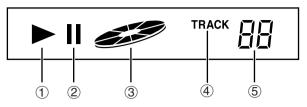
中央を軽く押さえて、ディスクを固定してください。

5 トレイを軽く押し込みます。

ディスクが認識されると(10秒以上かかります)、再生ソフトの操作パネルが表示され、再生が始まります。

ご参考

- 再生ソフトの操作については、画面右上の ? をダブルクリックして、ヘルプを参照してください。
- 音量調節のしかたについては、**音量を調節する**(☞54ページ)を参照してください。

ディスクを取り出す

前ページの手順 **4** で、ディスクの両端を持って取り出します。

CD 操作ボタンで操作する

再生するには	►II ボタンを押します。
再生を一時停止するには	►II ボタンを押します。 もう一度押すと、再生状態に戻ります。
再生を止めるには	■▲ ボタンを押します。
前の曲に戻るには	I◄◄ ボタンを押します。押すたびに前に戻ります。 再生中に押すと、再生中の曲の頭に戻ります。
次の曲に送るには	►►I ボタンを押します。押すたびに次に進みます。
ディスクを取り出すには	停止中に ■▲ ボタンを押します。 CD-ROMドライブのトレイが少し出て、ディスクを取り出すことができます。

ステータスディスプレイの表示

① 再生インジケータ	再生時に点灯します。
② 一時停止インジケータ	一時停止時に点灯します。
③ ディスクインジケータ	：ディスクがセットされています。（電源オフ状態から操作したときは、常に点灯します。） ：ディスクが回転しています。
④ TRACK インジケータ	トラック番号を表示するときに点灯します。
⑤ トラック番号表示	再生中のトラック番号を表示します。 停止または一時停止しているときは、再生できるトラック番号を表示します。

ステータスディスプレイの表示を消すには

LOCKスイッチ（☞48ページ）をLOCK状態にして、 ■▲ ボタンを押します。

ご参考

電源オフ状態から操作するときには、次のような状態が2分間続くと、節電のためステータスディスプレイに「SP」（セーブパワー）と表示されます。同じ状態がさらに 2 分間続くと、表示が消えます。

- 音楽 CD が停止している
- 音楽 CD 以外のディスクが入っている
- ディスクが入っていない

AV 音量を調節する

パソコンのステレオスピーカやオーディオ出力ジャックの音量を調節するには、以下の２通りの方法があります。

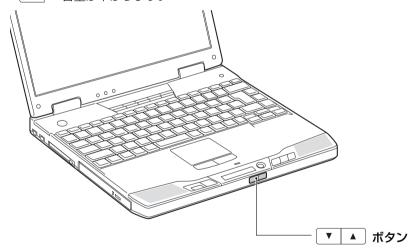
・音量調節ボタンで調節する
・プレーヤーソフトやマスタ音量で調節する

ご参考

- 音量調節ボタンでの音量調節とプレーヤーソフトやマスタ音量での音量調節は連動していません。
  一方で調節してもお好みの音量にならない場合は、もう一方も調節してみてください。

音量調節ボタンで調節する

[▲] または [▼] ボタンを押して、調節します。

[▲] ：音量が上がります。
[▼] ：音量が下がります。

プレーヤーソフトやマスタ音量で調節する

音楽 CD の場合

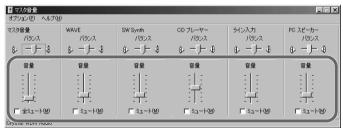
Faith Multi Player FX-77(MIDI/CD プレーヤーソフト)の「Volume」つまみで調節します。

音楽 CD 以外の場合

「マスタ音量」画面で、音量を設定します。

1 **タスクバーの をダブルクリックします。**

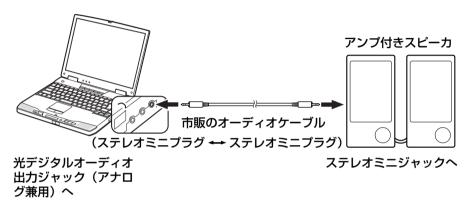
「マスタ音量」画面が表示されます。

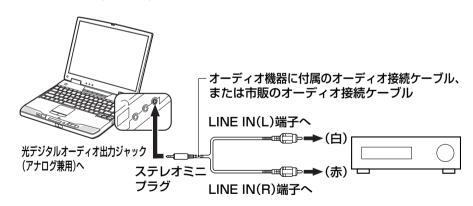
2 **再生する音声に応じた項目の音量を調節します。**

CD 再生時	:「CD プレーヤー」の音量を調節します。
WAVE 再生時	:「WAVE」の音量を調節します。
MIDI 再生時	:「SW Synth」の音量を調節します。
ソフトウェア MIDI 再生時	:「WAVE」の音量を調節します。

オーディオ機器に音声を出力する（アナログ）

パソコンに外部スピーカを接続すると、より鮮やかな音質でお楽しみいただけます。また、ライン入力端子のあるオーディオ機器に接続し、アナログ音声を出力することもできます。

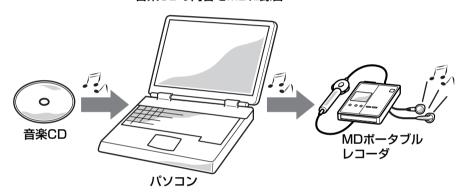
外部スピーカで聴く

市販のアンプ付きスピーカ（ステレオミニジャック付き）に接続できます。

オーディオ機器にアナログ音声を出力する

ライン入力端子(LINE IN)付きのオーディオ機器と接続します。

AV オーディオ機器に音声を出力する（デジタル）

パソコンから音声をデジタル信号で出力することができます。別売のパソコンリンク機能付きMDポータブルレコーダに接続して音楽CDをMDに録音したり、市販の光デジタル入力端子付きアンプに音声をデジタル信号で出力することができます。

パソコンリンク機能付き MD に録音する

パソコンリンク機能付きMDポータブルレコーダに接続すると、パソコン側の操作だけで、音楽CDの内容をMDにデジタル録音することができます。
対応機種：シャープ製 MD-MT831/832

録音を失敗しないために

次の準備をしてください。

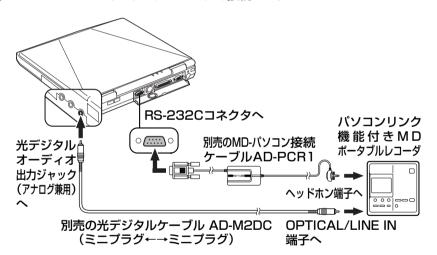
- ACアダプタを接続する。
- 「電源の管理のプロパティ」画面で「システムスタンバイ」を「なし」にする。
- 録音に関係のないソフトや自動的に起動するアプリケーションソフトは終了する。
- スクリーンセーバーを「なし」にする。

録音中は、操作ボタンやキーを押さないでください。

ご参考

- MDポータブルレコーダの使い方については、MDポータブルレコーダの説明書を参照してください。MD ポータブルレコーダ側のシンクロ録音機能を使った場合、正しく録音できないことがあります。
- 再生するCDによっては、曲番が正しく付かないときがあります。そのときは、MD ポータブルレコーダの編集機能を使って、録音後に曲番を付け直すことができます。
- 光デジタルオーディオ信号は、Windowsが起動しているときだけ出力されます。電源オフ状態でCD操作ボタンを押して音楽CDを再生したときは、出力されません。

1 **パソコンと MD ポータブルレコーダの電源を切ります。**

2 **パソコンと MD ポータブルレコーダを接続します。**

3 **MD ポータブルレコーダの電源を入れます。**

4 **パソコンの電源を入れます。**

5 **音楽 CD をドライブにセットします。**

自動的に再生ソフトが起動します。

6 **録音用 MD を MD ポータブルレコーダにセットします。**

MDの誤消去防止タブが解除されていることを確認してセットしてください。

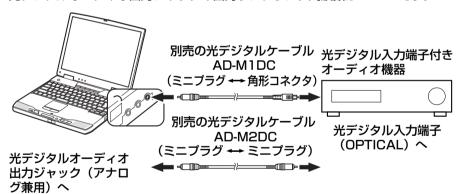
7 **VOLUME を最大にします。**

画面上の VOLUME つまみをドラッグして最大まで引き上げます。

8 **画面上の［CD>MD］をクリックします。**

以降の操作については、Faith Multi Player FX-77のヘルプを参照してください。

オーディオ機器にデジタル音声を出力する

市販のデジタルオーディオ入力端子付きアンプなどに接続できます。接続機器とコネクタ形状の合ったものをお使いください。
光デジタルオーディオ出力ジャックの出力サンプリング周波数は 48kHz です。

オーディオ機器でデジタル音声を録音するときは

パソコンリンク機能付き MD に録音するの手順**7**～**8**（☞上記手順）を参照して、音量を最大にしてください。

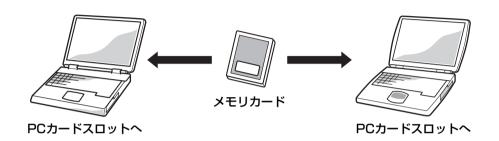
通信

データをやりとりしよう

このパソコンで作ったデータを、もう一台のパソコンに移したい。自分のパソコンを、会社のネットワークにつないで活用したい。デジタルカメラで撮った画像を、パソコンに取り込みたい……この章では、そんなとき必要なデータのやりとりの方法を紹介します。

PC カードでデータをやりとりする

相手のパソコンに PC カードスロットがある場合は、市販の PC カード型メモリカードを使ってデータをやりとりできます。

メモリカードにデータを保存し、相手のパソコンのスロットに差し込むと、デスクトップのマイコンピュータの中に PC カードのアイコンが表示されます。

ご参考

PC カードの使いかたについては、**PCカードを使う**（☞132 ページ）を参照してください。

デジタルカメラの画像を取り込む

デジタルカメラで撮影してスマートメディアなどに保存された画像データは、PCカードを使ってパソコンに取り込むことができます。

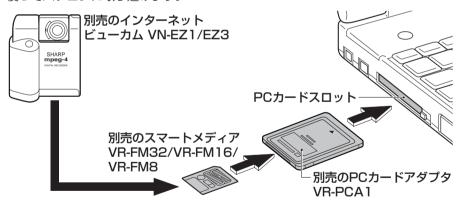
デジタルカメラの画像を取り込む

デジタルカメラの画像は、スマートメディアなどの記録媒体に保存されます。保存されたデータをパソコンに取り込むには、市販の PC カード型のアダプタを使用して、PC カードスロットに差し込みます。

ご参考

必要なドライバソフトやアプリケーションソフトについては、デジタルカメラの説明書を参照してください。

インターネットビューカムの画像を取り込む

シャープのインターネットビューカムで撮影したデータは、スマートメディアに保存されます。スマートメディアに保存された画像データは、PC カードアダプタを使ってパソコンに取り込みます。

ご参考

画像を取り込むには、インターネットビューカムに付属の PixLab（デジタルメディア総合ソフト）をインストールする必要があります。詳しくはインターネットビューカムの説明書を参照してください。

赤外線（光）通信を使う

赤外線(光)通信を使うとケーブルを接続せずにデータをやりとりできます。このパソコンは、次のような機器と赤外線通信ができます。

- シャープの携帯情報ツール（パワーザウルス、カラーザウルス、wiz）
- 赤外線通信ポートを装備したパソコンやプリンタなど

赤外線通信モードについて

このパソコンで使用する赤外線通信モードには、IrDAとASKがあり、通信相手によって自動的に切り替わります。

IrDA：　赤外線通信の標準化団体（IrDA）によって標準化された方式。Windows 98対応パソコンの推奨仕様であり、パワーザウルス、カラーザウルスはこの方式にも対応しています。

ASK：　シャープの携帯情報ツールなどと赤外線通信を行う方式。

赤外線通信の準備をする

赤外線通信を行うには、次の設定が必要です。

- Windowsの設定で、赤外線通信を使用可能にする。（☞ 下記手順）
- セットアップユーティリティのAdvancedメニュー（☞148ページ）の設定を確認する。（この項目は、ご購入時に設定されています。）
  - 「COM Port」項目　：「Disabled/Ir」または「RS-232/Ir」
  - 「Ir Mode」項目　：「IrDA 1.1」
- 「電源の管理のプロパティ」画面で「システムスタンバイ」を「なし」にする。

1 **スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「赤外線モニタ」アイコンをダブルクリックします。**

「赤外線モニタ」画面が表示されます。

2 **「オプション」タブをクリックし、「赤外線通信を使用可能にする」をクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックします。**

3 **画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

COM（論理）ポートを変更するには

ご購入時には、IrDAはCOM5、ASKはCOM4に割り当てられていますが、アプリケーションソフトによってはCOM4やCOM5が使用できない場合があります。このときは、次の手順でCOM（論理）ポートを変更してください。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「赤外線モード」アイコンをダブルクリックします。**

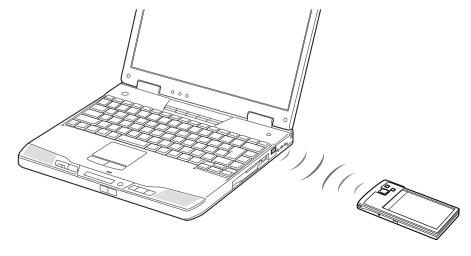
「赤外線モードのプロパティ」画面が表示されます。

2 **「ポート設定」タブをクリックし、ポートを変更して、[OK]をクリックします。**

Windowsが再起動します。

赤外線通信する

赤外線を使ってデータをやり取りするには、赤外線通信ポートを向かい合わせ、互いの距離が下記の距離になるように配置してください。

シャープの携帯情報ツール　：10～30cm
パソコン、プリンタなど　　：10～50cm

通信中は

- パソコンおよび通信相手を動かさないでください。
- 他の赤外線通信機器の近くや、直射日光や蛍光灯などの強い光が当たるところでの通信は避けてください。
- システムスタンバイ状態に移行しないでください。
- スクリーンセーバーを「なし」に設定してください。
- 近くで携帯電話や PHS などを使用しないでください。

パソコン間で赤外線通信する

Windows 98 を搭載しているパソコン間では、次のように操作します。

1 それぞれのパソコンの赤外線通信ポートがまっすぐに向き合うように設置します。

正しく赤外線ポートが向き合うと、タスクバーの赤外線インジケータが から に変わります。

2 デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、表示される画面内の「赤外線受信側-xxxxx（通信可能なパソコンの名前）」アイコンをダブルクリックします。

「赤外線転送」画面が表示されます。

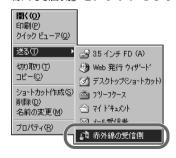
3 [ファイルの送信] をクリックします。

「ファイルの送信」画面が表示されます。

4 「ファイルの送信」画面で送信するファイルを選択し、[開く]をクリックします。

選択したファイルが、受信側のパソコンの「C:」ドライブの「My Received Files」フォルダに送信されます。

ショートカットメニューで送信するには

送信したいファイルを右クリックし、表示されるメニューで「送る」－「赤外線の受信側」をクリックします。

赤外線通信を停止する

パソコンから発光される赤外線が他の赤外線デバイスに影響をおよぼす場合は、次の手順で赤外線通信ポートからの発光を止めることができます。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「赤外線モード」アイコンをダブルクリックします。**

「赤外線モードのプロパティ」画面が表示されます。

2 **「赤外線を使わない」をクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックします。**

3 **画面右上の [×] をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

赤外線通信モードを有効にするには

上記手順 **2** でチェックマークを外します。

ネットワークに接続する（LAN）

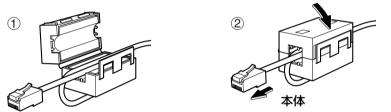
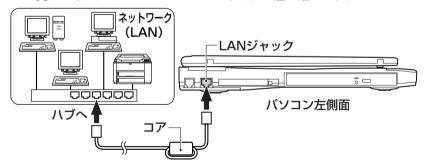
パソコンを会社などのネットワークに接続して使うには、市販のLANケーブルを使って、パソコンの LAN ジャックとハブをつなぎます。

使用する LAN ケーブルについて

10BASE-T の LAN に接続する場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 の UTP ケーブル（非シールドより対線）を使用してください。

1 パソコンの電源を切ります。

2 市販のLANケーブルを用意し、LANケーブルの一方のコネクタにできるだけ近い位置に付属のコア（LAN ケーブル用）を付けます。

コアにLANケーブルを巻き付けてから（①）、カチッと音がするように閉じてください（②）。（コアは、パソコンから電波がもれるのを防ぐための部品です）

3 コア側のコネクタをパソコンの LAN ジャックに差し込みます。

4 もう一方のコネクタをハブに差し込みます。

5 パソコンの電源を入れます。

6 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックします。

7 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

8 「ネットワークアダプタ」の「Realtek RTL8139（A）PCI Fast Ethernet NIC」をクリックし、[プロパティ]をクリックします。

9 [デバイスを使用可能にする]をクリックし、[OK]をクリックします。

10 [閉じる]をクリックします。

11 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

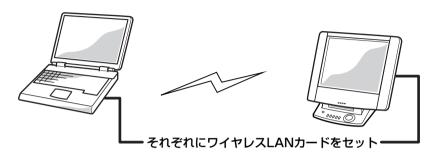
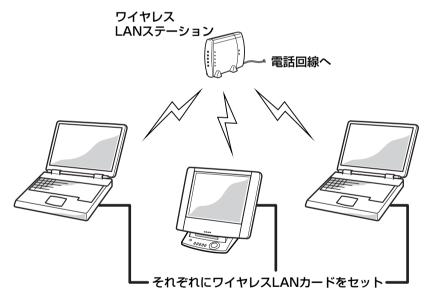
「ネットワークのプロパティ」画面が表示されます。

12 使用するネットワークに合わせた設定を行います。

設定内容については、ネットワーク管理者に確認してください。

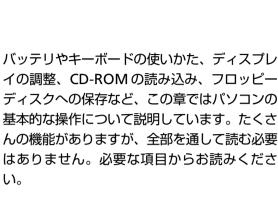
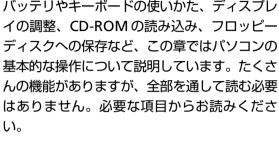
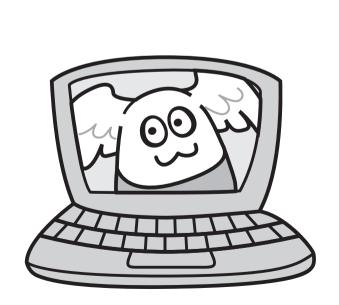
無線でネットワーク（LAN）を使う

別売のワイヤレスLANカード（CE-WC01）やワイヤレスLANステーション（CE-WA01）を使うと、ケーブルを接続せずに、次のような使い方ができます。

2台以上のメビウスでデータのやり取りをする

2台以上のメビウスで同時にインターネット接続する

ご参考

ワイヤレスLANカードやワイヤレスLANステーションの使い方については、それぞれの説明書をご覧ください。

基本操作

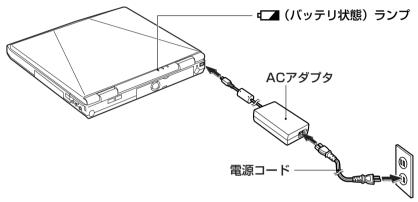
バッテリやキーボードの使いかた、ディスプレイの調整、CD-ROMの読み込み、フロッピーディスクへの保存など、この章ではパソコンの基本的な操作について説明しています。たくさんの機能がありますが、全部を通して読む必要はありません。必要な項目からお読みください。

基本 バッテリを使いこなす

ACアダプタを接続していないときは、パソコンの電源は内蔵のバッテリパックから供給されます。バッテリパックを上手に使いこなすために、充電や残量確認の方法、バッテリ切れの警告などについて知っておきましょう。

バッテリパックを充電する

バッテリパックを充電するといっても、特別な操作は必要ありません。
AC アダプタを接続するだけで充電が始まり、満充電になると充電が止まります。

充電中の状態は

（バッテリ状態）ランプが表示します。

オレンジ点灯	充電中
緑点灯	満充電

ご参考

- オレンジ色の点灯が消えたときは、バッテリパックの温度が上がり過ぎたため、充電が一時中止されています。温度が下がると充電が再開されます。
- ランプがオレンジ色に点滅しているときは、バッテリパックまたはパソコンの充電回路の異常です。長期間使用しなかったバッテリパックを充電したときも点滅することがあります。バッテリパックを初期化してみてください。（☞76 ページ）

充電時間は

次のとおりです。（バッテリ残量が空の状態から満充電になるまで）

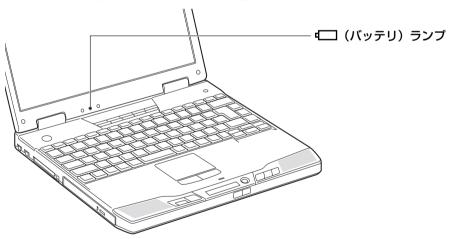
電源オフで充電したとき	約 2 時間 30 分
電源オンで充電したとき	約 4 時間

ご参考

長時間使用している場合など、バッテリパックの温度が高くなっているときは、充電時間が長くなることがあります。

バッテリの残量を確かめる

ACアダプタを外して、バッテリで使用しているときは、 (バッテリ)ランプが点灯します。

満充電時の使用時間については、**仕様一覧**（別紙）を参照してください。

バッテリの残量を確認する

タスクバーの の上に、マウスポインタを移動します。

バッテリの残量がパーセント表示されます。

をダブルクリックして、画面で確認することもできます。

ご参考

- バッテリの残量表示は概算によるものです。使用状況によって誤差が生じますので目安としてお使いください。
- バッテリの残量表示と実際の使用時間の誤差が大きくなったときは、バッテリパックを初期化してください。(☞76 ページ)

タスクバーに が表示されていないときは

次のように操作して、表示してください。

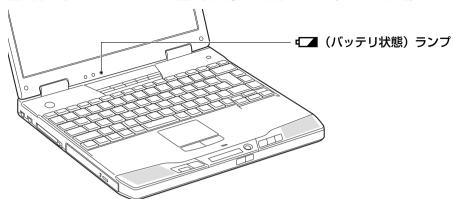
1 **スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。**

「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。

2 **「詳細」タブをクリックし、「アイコンをタスクバーに常に表示する」をクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックします。**

3 **画面右上の をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

バッテリ切れを警告するタイミングや動作を設定する

警告音を鳴らすタイミングや、警告後の動作を設定します。(アラーム設定)

バッテリ残量が10%になると、アラーム設定の内容にかかわりなく、ランプが赤く点滅し、警告音が鳴ります。すぐにデータを保存して電源を切るか、ACアダプタを接続してください。警告音は、Fn + F10 キーで止まります。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。**

「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。

2 **「アラーム」タブをクリックし、各項目のつまみをドラッグします。**

「バッテリ低下アラーム」: 「バッテリ切れアラーム」より大きい値に設定してください。

「バッテリ切れアラーム」: 5%より大きい値に設定してください。「アラーム後のコンピュータの動作」を「休止状態」に設定するときは、7% 以上に設定してください。

3 **それぞれの項目の [アラームの動作] をクリックします。**

「バッテリ低下のアラーム動作」または「バッテリ切れのアラーム動作」画面が表示されます。

4 「アラーム後のコンピュータの動作」をクリックしてチェックマークを付け、動作内容を設定し、[OK] をクリックします。

「バッテリ切れアラーム」の「アラーム後のコンピュータの動作」は「スタンバイ」に設定しないでください。

5 [OK] をクリックして画面を閉じます。

6 画面右上の ✕ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

バッテリパックを初期化する

バッテリパックは残量のあるうちに充電を繰り返すと、寿命が短くなる性質があります。バッテリ残量表示と実際の操作時間の誤差が大きくなったときや、新しいバッテリパックと交換したときは、次のように初期化してください。

1 AC アダプタをつないで、パソコンの電源を入れます。

2 「<F2> to enter System Configuration Utility」と表示されている間に、F2 キーを押します。

セットアップユーティリティ画面が表示されます。

3 ACアダプタを外して、バッテリの残量が完全になくなって電源が切れるまで放置します。

最長で約 2 時間かかります。

4 AC アダプタをつないで、満充電になるまで充電します。

約2時間30分かかります。満充電になると、 ランプが緑色に点灯します。

5 もう1度、手順1～4を繰り返し、バッテリパックを完全に放電し、満充電します。

ご参考

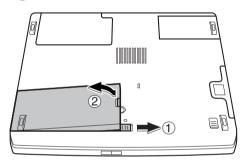
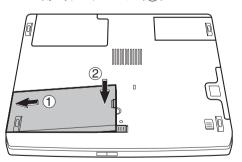
バッテリパックは消耗品です。初期化しても極端に使用時間が短くなったときは、新しいバッテリパックと交換してください。

バッテリパックを交換する

バッテリパックは必ず指定のものをお使いください。
外出先で長時間バッテリで使用するときなどは、予備のバッテリパックを準備して交換することもできます。

1 パソコンの電源を切り、AC アダプタを外します。

2 ディスプレイパネルを閉じて、パソコンを裏返します。

3 バッテリパックを取り外します。
レバーを押しながら（①）、バッテリパックのレバーを引いて取り出します（②）。

4 新しいバッテリパックを取り付けます。
バッテリパックとパソコンの突起部を合わせて（①）、バッテリパックのレバー側を押し下げます（②）。

正しく装着されると、カチッと音がします。

新しいバッテリパックをお求めのときは

パソコンをお買い上げの販売店にお問い合わせください。

消費電力を節約する

省電力機能は、コントロールパネルの「電源の管理」で設定することができます。
省電力機能は、ACアダプタで使用しているときと、バッテリで使用しているときのそれぞれについて設定できます。

操作しないときディスプレイやハードディスクの電源を切る

一定時間操作しない状態が続いたとき、ディスプレイまたはハードディスクへの電源供給を停止することができます。操作を再開すると、再び電源が供給されます。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。**
「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。

2 **「モニタの電源を切る」と「ハードディスクの電源を切る」欄で、それぞれの状態に移行するまでの時間を設定します。**
「モニタの電源を切る」の設定は、省電力機能に対応した外部ディスプレイを接続しているとき、外部ディスプレイに対しても働きます。

3 **[OK] をクリックして画面を閉じます。**

4 **画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

操作しないときスタンバイ状態または休止状態にする

一定時間操作しない状態が続いたとき、システムスタンバイ状態にすることができます。システムスタンバイ状態には、次の 2 種類があります。

スタンバイ状態	現在の状態をメモリに保存し、ほとんどの電源供給を停止します。このとき、（電源）ランプまたは（バッテリ）ランプが緑点滅します。操作を再開すると、わずかな時間で元の状態に復帰します。
休止状態	現在の状態をハードディスクに保存し、電源を切ります。電源ボタンを押すと、元の状態に復帰します。

ご参考

- システムスタンバイ状態へ移行するときは、通信、印字、および動画や音楽の再生は一旦終了してください。
- システムスタンバイ状態に移行または復帰中に、キーボードやポインティングデバイスの操作、およびディスプレイパネルの開閉をしないでください。
- スタンバイ状態は現在の状態を一時記憶するだけです。スタンバイ状態のまま放置してバッテリが切れると、データが消えてしまいます。
- バッテリで使用しているとき、バッテリの残量が一定水準以下になると休止状態から復帰できないことがあります、その場合は、ACアダプタを接続してください。

スタンバイ状態または休止状態にする

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。**

「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。

2 「システムスタンバイ」欄で、システムスタンバイ状態に移行するまでの時間を設定します。

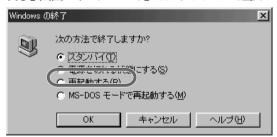
3 [OK] をクリックして画面を閉じます。

4 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

今すぐシステムスタンバイ状態にする

席を外すときなどに、パソコンをスタンバイ状態にしておくことができます。

「Windows の終了」画面でスタンバイ状態にする

1 スタートメニューから「Windows の終了」をクリックし、「Windows の終了」画面で「スタンバイ」をクリックして選択します。

2 [OK] をクリックします。

特定の操作でシステムスタンバイ状態にする

「電源の管理のプロパティ」画面で設定すると、次の操作をしたときも、スタンバイ状態にすることができます。

- ディスプレイパネルを閉じる。
- 電源ボタンを押す。
- Fn ＋ F12 キーを押す。

1 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。

「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。

> **ご参考**
>
> 「休止状態」タブをクリックし、「休止状態をサポートする」にチェックマークを付けると、選択肢に「休止状態」が追加されます。

2 「詳細」タブをクリックし、必要な項目を設定します。

「ポータブルコンピュータを閉じたとき」:

「スタンバイ」を選ぶと、ディスプレイパネルを閉じたとき、スタンバイ状態になります。

「コンピュータの電源ボタンを押したとき」:

「スタンバイ」を選ぶと、電源ボタンを押したとき、スタンバイ状態になります。

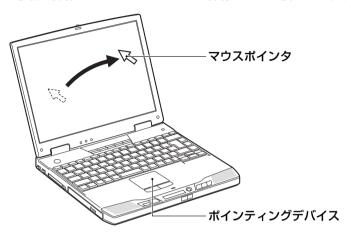
「コンピュータのスリープボタンを押したとき」:

「スタンバイ」を選ぶと、**Fn** ＋ **F12** キーを押したとき、スタンバイ状態になります。

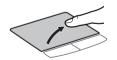
3 [OK] をクリックします。

4 画面右上の X をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

基本 パッド型ポインティングデバイスを使う

Windows 98 では、ポインティングデバイスによる画面操作で、ほとんどの操作が可能です。初めはマウスポインタ（ ）が思いどおりに動かないものですが、マウスを使うより場所をとらず、外出先でも手軽に操作できますから、ゆっくり操作しながら慣れましょう。

パッド部とボタンで操作する

ポイントする

マウスポインタを目的のアイコンやボタンの上に移動することです。

パッドに指を触れて、移動したい方向に動かします。
パッドの端で指を動かす場所がなくなったら、いったん指を上げて元の位置へ戻して、再度指を動かしてください。

- 必ず指で操作してください。先のとがったもの（シャープペンやボールペンの先）で操作すると、パッドを傷めてしまいます。
- 濡れた手や汗をかいた手で操作しないでください。マウスポインタが思わぬ方向に動いてしまうだけでなく、故障の原因にもなります。

クリックする

画面上のボタンを押したり、メニューを選ぶ操作です。

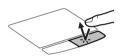
マウスポインタの位置を確かめて、
左ボタンをカチッと 1 回押します。

ダブルクリックする

ソフトウェアを起動したり、ファイルを開くときの操作です。

マウスポインタの位置を確かめて、
左ボタンをカチッカチッと 2 回押します。

右クリックする

関連するメニューを表示するときなどに使う操作です。

マウスポインタの位置を確かめて、右ボタンをカチッと 1 回押します。

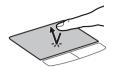
ドラッグする

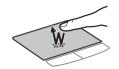
ファイルやフォルダを移動する操作です。

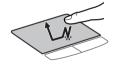
マウスポインタの位置を確かめて、親指で左ボタンを押したまま、人差し指をパッド上で動かします。
目的の位置まできたら、親指を左ボタンから離します（ドロップする）。
人差し指はそのあとゆっくり離して構いません。
一連の動作をドラッグ＆ドロップと呼びます。

パッド部だけで操作する

左ボタンのかわりにパッド部をトンと指でたたいて、クリックやダブルクリックをすることもできます。

クリックする

マウスポインタの位置を確かめて、パッドをトンと 1 回たたきます。

ダブルクリックする

マウスポインタの位置を確かめて、パッドをトントンと 2 回たたきます。

ドラッグする

マウスポインタの位置を確かめて、パッドをトントンと 2 回たたき、指をパッドにのせたまま動かします。
目的の位置まで動かしたら、指を離します（ドロップする）。
一連の動作をドラッグ＆ドロップと呼びます。

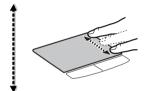
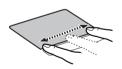
画面をスクロールする

パッド部で指を動かして、画面をスクロールすることができます。
画面のスクロールは、対応したアプリケーションソフトでのみ動作します。

上下にスクロールする

パッドの右端に指を触れて、前後に動かします。指を前に動かすと画面が上にスクロールされ、後ろに動かすと画面が下にスクロールされます。

左右にスクロールする

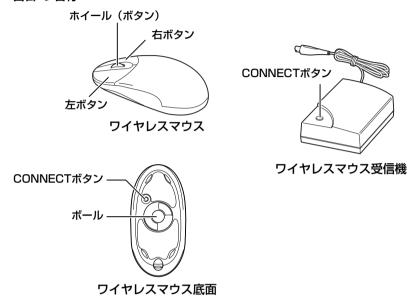
パッドの下部に指を触れて、左右に動かします。指を右に動かすと画面が右にスクロールされ、左に動かすと画面が左にスクロールされます。

上下にスクロール

左右にスクロール

その他の機能の確認や設定は

「マウスのプロパティ」画面をご覧ください。画面を表示するには、タスクバーにある をダブルクリックします。機能については、ヘルプの内容をお読みください。

基本 ワイヤレスマウスを使う

付属のワイヤレスマウスで画面上のマウスポインタ（ など）を動かして、パソコンを操作できます。ワイヤレスマウスを使うには、受信機の接続などの準備が必要です。

各部の名称

節電状態について

ワイヤレスマウスを動かさない（またはボタンが押されない）状態が6秒以上続くと節電状態になり、ワイヤレスマウスを動かすと（またはボタンを押すと）通常のモードに切り替わります。

ご参考

- スチール製デスクの上など、金属性のものの上に直接ワイヤレスマウス受信機を置いたり、金属性のものの上でワイヤレスマウスを使用したりしないでください。電波が吸収されてマウスポインタがスムーズに動かなくなる場合があります。
- マウスの操作が不要なときに、ワイヤレスマウスを動かしたり、ワイヤレスマウスのボタンを押し続けたりしないでください。パソコンの操作に関係なくても乾電池を消費します。また、ワイヤレスマウスのボタンが押し続けられたり、ボールが動き続けたりするような状態が続くと乾電池を急速に消費します。
- 持ち運ぶときは、必ず乾電池を取り出してください。ワイヤレスマウスのボタンが押された状態が続くと、乾電池を急速に消費します。

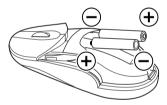
ワイヤレスマウスを使う準備をする

ワイヤレスマウスに乾電池を入れる

付属の乾電池 2 個を、ワイヤレスマウスに入れます。

1 ワイヤレスマウスの乾電池カバーを取り外します。

底面のレバーを押しながら（①）、カバーをスライドさせて取り外します（②）。

2 プラス／マイナスの向きを確認して、乾電池を入れます。

3 カバーをスライドさせて、取り付けます。

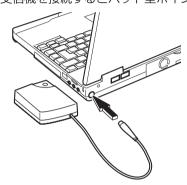
正しく装着されると「カチッ」と音がします。

ご参考

- 乾電池の使用可能時間（1 日 8.5 時間使用して、1 週間に 5 日間操作したとき）は、約 6 か月です。
- 使用状態によっては、電池の寿命が短くなります。

ワイヤレスマウス受信機を接続する

1 パソコンの電源を切ります。

2 受信機のコネクタをパソコンの PS/2 コネクタに接続します。
矢印を下にして、しっかり差し込みます。
受信機を接続するとパッド型ポインティングデバイスは使えなくなります。

3 パソコンの電源を入れます。

4 ワイヤレスマウスに乾電池を入れます。(☞ 前ページ)

5 ワイヤレスマウス受信機の「CONNECT」ボタンを押します。

6 ワイヤレスマウスの「CONNECT」ボタンを押します。

7 スタートメニューから「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

8 「名前」ボックスに C:¥MOUSE¥WIRELESS¥SETUP と入力し [OK] をクリックします。

9 [次へ] をクリックします。

10 [次へ] をクリックします。

11 [完了] をクリックします。
Windows が再起動されます。

パッド型ポインティングデバイスを使える状態に戻す

前ページの手順**7**から**11**の操作をすると、パッド型ポインティングデバイスのスクロール機能が使用できなくなります。パッド型ポインティングデバイスを再度お使いになる場合は、次の手順でワイヤレスマウスのドライバを削除したあと、パッド型ポインティングデバイス用ドライバを再インストールしてください。

ワイヤレスマウス用ドライバを削除する

① スタートメニューから「プログラム」－「マウスウェア」－「マウスのアンインストール」をクリックします。
　「ファイル削除の確認」画面が表示されます。
② [はい] をクリックします。
③「共有ファイルを削除しますか？」画面で [すべてはい] をクリックします。
　確認の画面が表示されます。
④ [はい] をクリックします。
　「アンインストール」画面が表示されます。
⑤ [はい] をクリックします。
　Windows が再起動されます。

パッド型ポインティングデバイス用ドライバをインストールする

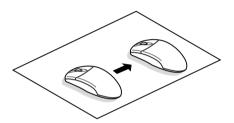
① 付属の「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 2」をドライブにセットします。
② スタートメニューから「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
③「名前」ボックスに **R:\MOUSE\TOUCHPAD\SETUP** と入力し、[OK] をクリックします。
④ [次へ] をクリックします。
　「インストール先の選択」画面が表示されます。
⑤ [次へ] をクリックします。
　「ファイルコピーの開始」画面が表示されます。
⑥ [次へ] をクリックします。
　「セットアップ完了」画面が表示されます。
⑦ [完了] をクリックします。
　Windows が再起動されます。
⑧ Windowsが起動したら、いったん電源を切ってワイヤレスマウス受信機を外します。

ワイヤレスマウスで操作する

ワイヤレスマウスを机など平らなところに置き、ボタンに指がかかるように上から手をのせて動かします。ワイヤレスマウスを滑らせるように動かすと、マウスポインタ（など）が同じ方向に移動します。

ご参考
ワイヤレスマウスは、ワイヤレスマウス受信機から約 1m 以内でお使いください。

ポイントする

マウスポインタを目的のアイコンやボタンの上に移動することです。

ワイヤレスマウスを移動したい方向に動かします。
マウスパッドの端でマウスを動かす場所がなくなったら、いったんマウスを上げて元の位置へ戻して、再度マウスを動かしてください。

クリックする

画面上のボタンを押したり、メニューを選ぶ操作です。

マウスポインタの位置を確かめて、
左ボタンをカチッと 1 回押します。

ダブルクリックする

ソフトウェアを起動したり、ファイルを開くときの操作です。

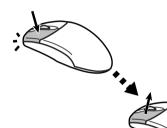
マウスポインタの位置を確かめて、左ボタンをカチッカチッと 2 回押します。

右クリックする

関連するメニューを表示するときなどに使う操作です。

マウスポインタの位置を確かめて、右ボタンをカチッと 1 回押します。

ドラッグする

ファイルやフォルダを移動する操作です。

マウスポインタの位置を確かめて、左ボタンを押したまま、マウスを動かします。
目的の位置まできたら、左ボタンから指を離します（ドロップする）。
一連の動作をドラッグ＆ドロップと呼びます。

画面をスクロールする

ホイールを前に回すと画面が上にスクロールされ、後ろに回すと画面が下にスクロールされます。

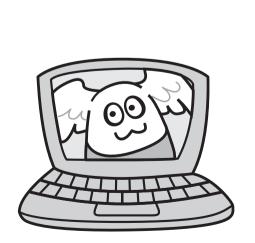
画面のスクロールは、対応したアプリケーションソフトでのみ動作します。

ホイール（ボタン）をキーボードと組み合わせて使う

ホイール（ボタン）とキーボードを組み合わせて操作すると、次の操作ができます。

ズーム	Ctrl キーを押しながらホイールを前後に回すと、画面の表示を拡大したり、縮小したりできます。
データズーム	Shift キーを押しながらホイールを前後に回すと、対応したブラウザソフトでは、前ページへの復帰や、次ページへの移動ができます。また、Windowsのエクスプローラではフォルダの階層の展開や折り畳みができます。

乾電池を交換する

マウスポインタがスムーズに動かないときは、故障かな？と思ったら （☞157 ページ）をよく読んで、対処方法を確かめてください。それでも動かないときは、乾電池が消耗している可能性があります。この場合は、ワイヤレスマウスに乾電池を入れる （☞87 ページ）を参照して、新しい単 4 形アルカリ乾電池 2 個と交換してください。

基本 キーボードを使う

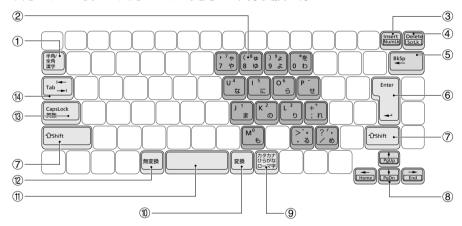
キーボードを使うと、文字を入力したり、特定の機能を働かせたりすることができます。ここでは、それぞれの役割に使うキーを分けて紹介します。

ご参考

Windowsやアプリケーションソフトで割り当てられているその他の機能については、 下記のものを参照してください。

- Windows 98 ファーストステップガイド（別冊）
- Microsoft IME（日本語入力システム）のヘルプ
- お使いのアプリケーションソフトの説明書、ヘルプ

文字を入力する

下記のキーを使って入力モードの変更や、文字変換を行います。

① 半角 / 全角・漢字 キー

日本語入力システムのオン／オフを切り替えます。（ご購入時の設定）

② 数字キーブロック

数字キーロックモード時、数字と演算記号（青色刻印）が入力できる状態になります。

③ NumLk （数字キーロック）キー

Fn キーを押しながら、 NumLk キーを押すと、Ⓝ（Num Lock）ランプが点灯し、数字キーブロックで、数字と演算記号（青色刻印）が入力できる状態になります。モードを解除するには、もう一度 Fn キーを押しながら、 NumLk キーを押します。

④ **Delete（デリート）キー**
カーソル位置の右側の 1 文字、または選択した範囲の文字を消します。

⑤ **BkSp（バックスペース）キー**
カーソル位置の左側の 1 文字、または選択した範囲の文字を消します。

⑥ **↵ Enter（エンター）キー**
日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を確定します。
文字確定後、および日本語入力システムがオフのときは、改行になります。

⑦ **Shift（シフト）キー**
Shift キーを押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている文字や記号、アルファベットの大文字が入力できます。

⑧ **↓ ↑ ← →（カーソル）キー**
カーソルを上下左右に移動します。

⑨ **カタカナ・ひらがな・ローマ字 キー**
日本語入力システムがオンのときは、Alt キーを押しながら カタカナ・ひらがな・ローマ字 キーを押すたびに、かな入力／ローマ字入力が切り替わります。また、Shift キーを押しながら カタカナ・ひらがな・ローマ字 キーを押すと、カタカナモードになります。ひらがなモードに戻るには、カタカナ・ひらがな・ローマ字 キーだけを押します。

⑩ **変換 キー**
日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を変換します。
もう 1 度 変換 キーを押すと、他の候補リストを表示します。
スペースキーを押して変換することもできます。（ご購入時の設定）

⑪ **スペースキー**
スペース（空白）を入力します。

⑫ **無変換 キー**
日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を、全角／半角のカタカナや数字に変換できます。

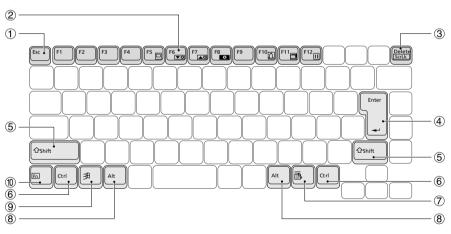
⑬ Caps Lock・英数 キー

Shift キーを押しながら、Caps Lock・英数 キーを押すと、(Caps Lock) ランプが点灯し、アルファベットの大文字が入力できる状態になります。モードを解除するには、もう一度 Shift キーを押しながら、Caps Lock・英数 キーを押します。また、日本語入力システムがオンのときに Caps Lock・英数 キーを押すと、英数字モードになります。

⑭ Tab（タブ）キー

タブ位置まで入力位置が移動します。

特定の機能を働かせる

キーボードからパソコンを動作させるためには、特定の機能を割り当てたキーを押す方法と、Fn や Ctrl キーなどを押しながら他のキーを押す操作（ショートカット）があります。

① Esc（エスケープ）キー

現在の操作を取り消して、1 つ前の操作に戻るときなどに押します。

② F1 ～ F12（ファンクション 1 ～ 12）キー

使用するソフトウェアによって、いろいろな機能が割り当てられます。

③ Delete（デリート）キー

選択したファイルやアイコンなどを削除します。

④ **[⏎]（エンター）キー**

設定画面の破線で囲まれたボタンや、反転している項目を選択します。

⑤ **[Shift]（シフト）キー**

[Shift] キーを押しながら他のキーを押すと、キーの上段に刻印されている機能が働きます。

⑥ **[Ctrl]（コントロール）キー**

[Ctrl] キーを押しながら他のキーを押すと、いろいろな操作ができます。機能はソフトウェアによって異なります。

⑦ **[アプリケーションキー]（アプリケーション）キー**

使用するソフトウェアによって、いろいろな機能が割り当てられます。通常は、右クリックと同じ働きをします。

⑧ **[Alt]（オルト）キー**

[Alt] キーを押しながら他のキーを押すと、いろいろな操作ができます。機能はソフトウェアによって異なります。[Alt] キーを押しながら緑色で刻印されたキーを押すと、その機能が働きます。

⑨ **[Windowsキー]（Windows）キー**

Windows 98 の「スタート」メニューを表示します。

⑩ **[Fn]（ファンクション）キー**

[Fn] キーを押しながら枠囲みで刻印されているキーを押すと、枠囲みの機能が働きます。枠囲みでアイコンが刻印されているキーの機能は次のとおりです。

[Fn] ＋ [F5]（アイコン）：外部ディスプレイを使用しているとき、表示先を切り替えます。（テレビに切り替えることはできません。）

[Fn] ＋ [F6]（アイコン）：内蔵ディスプレイを暗くします。

[Fn] ＋ [F7]（アイコン）：内蔵ディスプレイを明るくします。

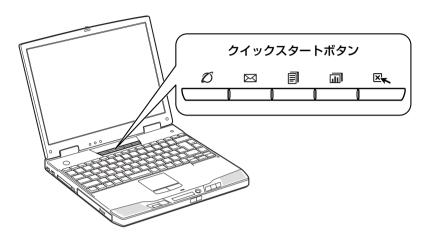
[Fn] ＋ [F8]（アイコン）：内蔵ディスプレイの明るさを最大にします。もう一度押すと、元の明るさに戻ります。

[Fn] ＋ [F10]（アイコン）：バッテリパックの残量がわずかになったときに鳴る警告音を止めます。（この警告音はパソコン自体の機能です。Windows 98 で設定する短い警告音は止まりません。）

[Fn] ＋ [F11]（アイコン）：内蔵ディスプレイのオン／オフを切り替えます。

[Fn] ＋ [F12]（アイコン）：パソコンをスタンバイ状態または休止状態にします。

基本 ボタンでソフトを起動する

クイックスタートボタンを押すと、登録されているアプリケーションソフトが起動します。電源オフ状態で押すこともできます。それぞれの状態から、Windows が起動した後に、アプリケーションソフトが起動します。

パスワードの設定はしないでください

ご購入時状態のまま使用するときは問題ありません。
パスワードが設定されると、電源オフ状態でクイックスタートボタンを押したとき、Windowsが起動する途中でパスワード入力が必要になり、動作が止まります。

クイックスタートボタンの働き

インターネット	Microsoft Internet Explorer（WWWブラウザソフト）が起動します。
メール	Microsoft Outlook Express（メールソフト）が起動します。
ワープロ	Microsoft Word 2000（日本語ワープロソフト）が起動します。
表計算	Microsoft Excel 2000（表計算ソフト）が起動します。
ソフト終了	使用中のソフトを終了するときに押します。

割り当てられているアプリケーションソフトの確認・変更は

タスクバーにある をクリックしたあと、「クイックスタートボタンのヘルプ」をダブルクリックして表示されるヘルプをお読みください。

ディスプレイの明るさ・解像度・壁紙を変える

ディスプレイが明るくて目が疲れると感じたときや、暗くて見づらいと感じたときは、明るさを調整してください。また、ディスプレイの解像度や壁紙を変えることもできます。

ディスプレイの明るさを変える

キーボード操作で、ディスプレイの明るさを変えることができます。

キー	操作
Fn ＋ F6（▼☼）	ディスプレイを暗くします。
Fn ＋ F7（▲☼）	ディスプレイを明るくします。
Fn ＋ F8（☼）	ディスプレイの明るさを最大にします。もう一度押すと、元の明るさに戻ります。

ディスプレイの解像度や色を変える

パソコンのディスプレイは、解像度や色数を変更することができます。
通常はご購入時の設定のままお使いください。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。**
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

2 **「設定」タブをクリックし、「色」の ▼ をクリックして、メニューから色を選びます。解像度を変えるときは、「画面の領域」のつまみをドラッグして動かします。**

3 **[OK] をクリックします。**
変更した項目（色または解像度）の確認メッセージが表示されます。両方を変更したときは、それぞれのメッセージが表示されます。
メッセージに従って操作してください。

4 画面右上の をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

設定可能な解像度と色数

解像度	640 × 480、800 × 600、1024 × 768
色数	256 色、65536 色、1677 万色 ※

※このパソコンでは、ディザリング機能により最大 1677 万色を表示します。

ご参考

- 「色」の設定と表示の色数は以下のとおりです。
  High Color（16 ビット）：65536 色
  True Color（24 ビットまたは 32 ビット）　：1677 万色
- 「True Color」に設定した場合には、次のような制限があります。
  ・画面の描画速度が遅くなります。
  ・動画を表示すると、画面が乱れる場合があります。

外部ディスプレイを接続している場合

外部ディスプレイを接続している場合は、外部ディスプレイの表示能力に応じた画面の領域（解像度）を設定することができます。このとき、内蔵ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示および内蔵ディスプレイのみの表示では、設定された画面の領域のうち 1024 × 768 ドットが表示されます。隠れている部分を見るには、その部分がある方向の画面の端にマウスポインタを動かすと画面がスクロールして見えるようになります。

ディスプレイの壁紙を変える

あらかじめ用意された 6 種類の壁紙（背景画面）が、「desk top」欄で選べます。
また、この他にもいろいろな壁紙が用意されています。

「desk top」欄で壁紙を選ぶには

1 ～ 6 のボタンをクリックするだけで、壁紙を切り替えることができます。

その他の壁紙を選ぶには

1 **スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。**

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

2 **「壁紙」リストから壁紙を選びます。**

Mebius で始まる名前の壁紙がメビウス用のオリジナル壁紙です。

壁紙を選ぶと設定画面にサンプル画面が表示されます。

3 **［OK］をクリックします。**

「画面のプロパティ」画面が閉じ、選択した壁紙に設定されます。

4 **画面右上の ✕ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

ご購入時の状態に戻すには

上記の手順 **2** で「Mebius モバイルデスクトップ」を選んでください。

ご参考

- メビウス用の壁紙は、使用する場合のディスプレイの解像度と色数がわかるように名前がついています。

- メビウス用の壁紙の1677万色版は、付属の「アプリケーションCD-ROM ディスク 1」の「shpwall」フォルダの中に用意されています。お使いになるときは、パソコンのハードディスク（C ドライブ）の「Windows」フォルダにコピーしてから手順**1**〜**4**の操作をしてください。
- 1677万色の壁紙を使用するときは、あらかじめディスプレイの色を「True Color（24 ビット）」に設定してください。
- 1677万色の壁紙を使用しているときは、アプリケーションソフトによっては起動できないことがあります。その場合は、壁紙を256色（8ビット）または65536色（16ビット）のものに変更してください。

基本 CD-ROMを読み取る

CD-ROMをセットして、市販のアプリケーションソフトなどをインストールしたり、データを使うことができます。

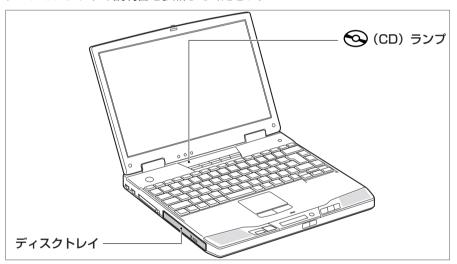
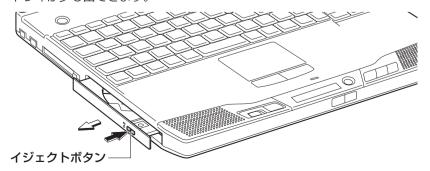
CD-ROMについて

下記のマークのあるディスクをお使いください。

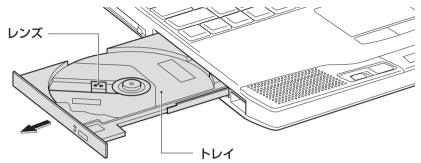
アプリケーションソフトのインストールについて

アプリケーションソフトをパソコンで使えるようにするには、ドライブにCD-ROMをセットし、インストール操作をします。インストールの方法については、アプリケーションソフトの説明書を参照してください。

1 ランプが消えていることを確認し、イジェクトボタンを押します。

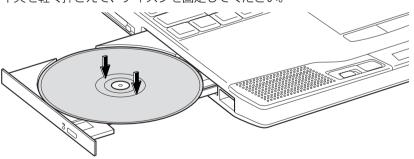
トレイが少し出てきます。

ご参考

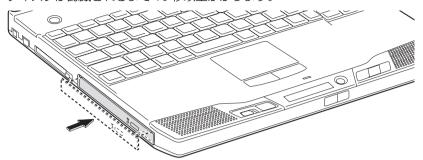
ディスクをセットしていないときに、ランプが点滅することがあります。これは Windows 98 の CD の「挿入の自動通知機能」が働いているためで、故障ではありません。

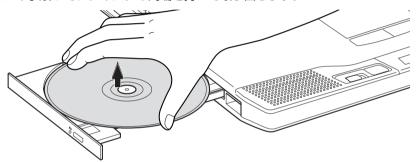
2 **トレイを、止まるまでゆっくり引き出します。**

ご注意 **レンズに手を触れないでください**

レンズが汚れると、故障の原因になります。レンズを拭くときは、糸くずの出ない綿棒で軽く拭いてください。

3 **ラベル面(文字が印刷されている面)を上にして、ディスクをトレイに置きます。**

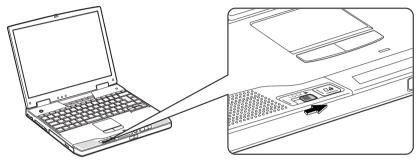
中央を軽く押さえて、ディスクを固定してください。

4 **トレイを軽く押し込みます。**

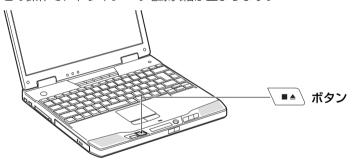
ディスクが認識されるまで 10 秒以上かかります。

ディスクを取り出す

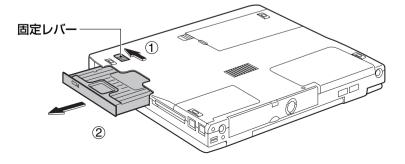
前ページの手順 **3** で、ディスクの両端を持って取り出します。

基本 別売ドライブを取り付ける

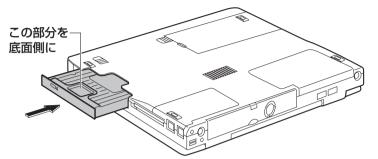
別売の CD-R/RW ドライブ（CE-CW01）を取り付けるには、必ず下記の手順どおりに取り付けてください。

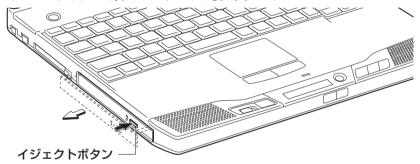
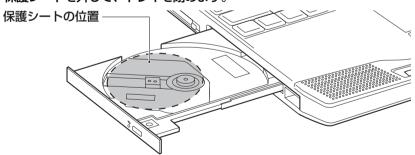
1 **パソコンの電源を切り、AC アダプタを取り外します。**

2 **LOCK スイッチを LOCK 状態にします。**

3 **■▲ ボタンを押します。**

この操作で、ドライブへの電源供給が止まります。

4 **ディスプレイを閉じ、水平な場所に置いて、裏返しにします。**

5 **固定レバーを矢印の方向にスライドさせてから(①)、内蔵されているドライブをゆっくり引き出します（②)。**

6 別売ドライブを差し込みます。

コネクタ部分を奥にして「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

7 パソコンを表向きに戻して、電源を入れます。

8 イジェクトボタンを押して、トレイを引き出します。

9 保護シートを外して、トレイを閉めます。

CD-R/RW に書き込む

別売の CD-R/RW ドライブを使うと、自分で作曲した曲でオリジナル音楽 CD を作ったり、複数の音楽 CD を 1 枚の音楽 CD にして自分で楽しんだり、増える一方の画像データや残しておきたいデータを CD-R または CD-RW に保存することができます。

CD-R と CD-RW は、どちらも書き込み可能なコンパクトディスクです。

CD-R データを1回だけ書き込めます。ディスクに空き容量があるときは、追加して書き込めます。記録済みの部分を消去することはできません。

書き込んだディスク	一部の CD-R 未対応のパソコンや CD プレーヤーでは読み出し / 再生できません。
推奨ディスク	太陽誘電（株）製、（株）リコー製、三菱化学（株）製、三井化学（株）製、TDK（株）製、日立マクセル（株）製

CD-RW 記録済みの部分を消去して何度も書き込めます。（約 1000 回）

書き込んだディスク	CD-RW対応ドライブを搭載したパソコンや機器でしか読み出し / 再生できません。
推奨ディスク	（株）リコー製、三菱化学（株）製

別売の CD-R/RW ドライブ（CE-CW01）を使うときは

CD-R/RWドライブを取り付け（☞107ページ）、CD-R/RWドライブに付属の編集ソフトEasy CD Creator、DirectCDをインストールしてください。編集ソフトの操作方法は、それぞれのオンラインマニュアルおよびヘルプを参照してください。

Easy CD Creator ：ファイル単位でデータを書き込むことができます。
DirectCD ：オリジナル CD を作ることができます。

書き込みに失敗しないために

書き込みの操作をする前に、次の準備をしてください。

- AC アダプタを接続する。
- 「電源の管理のプロパティ」画面で「システムスタンバイ」を「なし」にする。
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。
- スクリーンセーバーを「なし」にする。

書き込み中は、操作ボタンやキーを押さないでください。
Direct CDはWindowsシステムの一部として動作していますので、常駐を解除しないでください。誤動作の原因になります。

基本 ディスクの取り扱い

ディスクに記録されているデータやプログラム、ドライブを保護するために、次の注意をお守りください。

ディスクを持つときは、両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ち、ディスクの表面に手を触れたり、傷を付けないでください。

直射日光の当たるところや暖房機具の近く、ほこりの多いところなどでの使用・保管は避けてください。

文字などを書いたり、テープなどを貼ったりしないでください。
CD-RまたはCD-RWのラベル面に文字を書くときは、先の硬い筆記用具を使わないでください。傷が付くと、データが読めなくなります。

落としたり、上に重いものを載せたり、曲げたりして、衝撃を与えないでください。

テープなどののりがはみ出たものや、はがしたあとがあるものは使わないでください。

特殊形状(ハート形や八角形など)のディスクは使わないでください。

お手入れのしかた

信号面に汚れが付いたときは、ほこりの出ない乾いた柔らかい布で、中央から縁に向けてまっすぐに軽く拭きとってください。矢印と反対の方向に拭いたり、レコード盤のようにまわしながら拭くと傷がつくことがあります。

CD-R または CD-RW をお使いのときは

記録面に傷やほこりが付かないように注意してください。
傷やほこりが付くと、データの書き込みが正しくできなくなります。ほこりが付いたときは、カメラ用の清掃用ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

レンズのお手入れ

ディスクトレイのレンズ（☞105ページ）に汚れが付いたときは、糸くずの出ない綿棒で軽く拭いてください。

ご注意

次のものは使用しないでください。ディスクおよびレンズを傷める恐れがあります。

- アルコール、ベンジン、シンナーなどの化学薬品
- 研磨剤を含むクリーナ
- レコード用のスプレーやクリーナ
- 静電防止剤

基本 フロッピーディスクに保存する

フロッピーディスク（FD）には、文書データなど比較的小さいデータが保存できます。

フロッピーディスクについて

フロッピーディスクには、2DDと2HDの2種類があります。

2DD：720KB（キロバイト）

2HD：1.44MB（メガバイト）

使用できるフロッピーディスク

- 「DOS/V用」と表示されたものを選んでください

  フロッピーディスクを購入するときは、「DOS/V用」（「DOS/V機器対応」「DOS/Vフォーマット済み」）と表示されたものを選んでください。
- その他のフロッピーディスクはフォーマットすると使えます

  「DOS/V用」以外のフロッピーディスクは、フォーマット（初期化）すると、「DOS/V用」として使えるようになります。（☞114ページ）

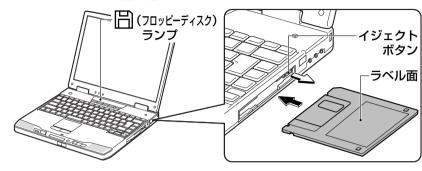
- フォーマットすると、フロッピーディスク内のデータはすべて消えてしまいます。大切なデータが入っていないか、あらかじめ確認してください。
- 1.2MBタイプのフロッピーディスクも使用できますが、使用上の制限事項があります。（☞161ページ）

書き込み禁止タブについて

フロッピーディスクには、保存したデータを誤って消してしまわないように、書き込み禁止タブがついています。データを保存するときは、必ず書き込み可能の位置にしてください。書き込み禁止状態でもデータを読み込むことはできます。

フロッピーディスクに保存する

1 **フロッピーディスクドライブに、書き込み可能状態にしたフロッピーディスクを入れます。**

ラベル面を上にして差し込んでください。

正しく差し込まれると、イジェクトボタンが少し飛び出します。

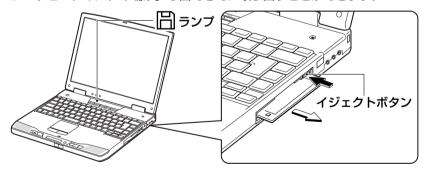
斜めに入れたり、上下を逆にしたりして、無理に押し込まないでください。

2 **使用しているアプリケーションソフトで、「保存する場所」を「3.5インチFD(A：)」に指定して、作成したデータを保存します。**

ご注意 **ランプ点灯中はディスクを取り出さないでください**

点灯中はディスクへの書き込みが実行されています。途中でディスクを抜くと、データが失われたり、破損したりすることがあります。

3 **ランプが消えていることを確認し、イジェクトボタンを押します。**

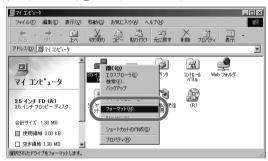
フロッピーディスクの端が少し出てきて、取り出すことができます。

フロッピーディスクをフォーマット（初期化）する

フロッピーディスクをフォーマットすると、新しいディスクとして使用することができます。（記録されていたデータはすべて消去されます。）
フォーマットしたいフロッピーディスクが、書き込み禁止になっていないことを確認し、次のように操作してください。

1 **フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクを入れます。**

2 **「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして画面を開きます。**

3 **「3.5 インチ FD（A：）」アイコンを右クリックしてメニューを表示します。**

4 **「フォーマット」をクリックします。**

「フォーマット -3.5 インチ FD（A:）」画面が表示されます。

5 **「容量」欄で「1.44MB」（2HD の場合）または「720KB」（2DD の場合）をクリックします。**
新しいディスクをフォーマットするときは、「フォーマットの種類」で「通常のフォーマット」を選んでください。

6 **［開始］をクリックします。**
フォーマットが始まります。
フォーマット後、「フォーマットの結果」画面が表示されます。

7 **［閉じる］をクリックして「フォーマットの結果」画面を閉じます。**

8 **［閉じる］をクリックして「フォーマット -3.5 インチ FD（A:）」画面を閉じます。**

9 **画面右上の ✕ をクリックして「マイコンピュータ」画面を閉じます。**

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータを保護するため、次のような点にご注意ください。

シャッタを開けて直接シート（記録面）に触れないでください。

落としたり、上に重いものを載せたり、曲げたりして、衝撃を与えないでください。

液体をこぼさないでください。

磁気を発生させるもの（磁石、スピーカなど）の近く、直射日光の当たるところや暖房機具の近く、ほこりの多いところなどでの使用・保管は避けてください。

基本 音声を入力する

マイクや音楽CD以外で、接続した機器から音声入力する場合は、マスタ音量のプロパティで使用する機器にチェックマークを付けてください。

1 タスクバーの をダブルクリックします。
「マスタ音量」画面が表示されます。

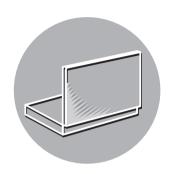
2 メニューバーから「オプション」ー「プロパティ」をクリックします。

3 「音量調整」欄の「録音」をクリックします。

4 「表示するコントロール」欄の使用する機器をクリックして、チェックマークを付けます。

5 [OK]をクリックします。

6 画面右上の をクリックして画面を閉じます。

拡張操作

プリンタや外部ディスプレイなどの周辺機器をつなぐと、パソコンの用途が拡がります。PC カードを差し込んで新しい機能を追加したり、メモリを増設することもできます。

接続できる機器を確かめる

プリンタやマウスなど周辺機器を購入するときは、コネクタの形状が合っているか、自分のパソコンに対応しているのか、などを確かめましょう。

使える周辺機器を確かめる

「PC/AT 互換機対応」と表示されている機器を選びましょう

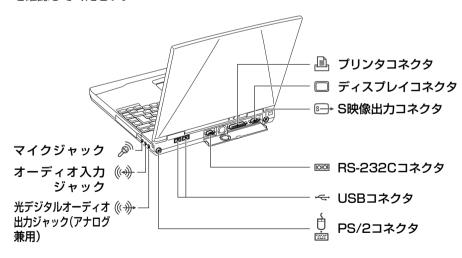
「Windows 98 対応」「DOS/V パソコン対応」と表示されている場合も同じです。周辺機器のカタログやパッケージには、「○○対応」という表示がされていますので、確認してください。

「Macintosh 対応」「Mac OS 対応」「UNIX 対応」のみの表示の機器は使えません。

専用のドライバソフトをインストールするものがあります

ドライバソフトは、周辺機器を認識するためのソフトウェアです。ドライバソフトのフロッピーディスクやCD-ROMが付属されている場合は、説明書に従ってパソコンにインストールしましょう。

コネクタの形状を確かめる

このパソコンには次のようなコネクタがあります。コネクタの名前や形状(ピン数)を確認してください。

PS/2 コネクタ（ミニ DIN 6 ピン）

キーボードやマウス用のコネクタです。接続できるマウスやキーボードには「PS/2 対応」などの表示があります。
PS/2マウスを接続すると、パソコンのポインティングデバイスは使えなくなります。

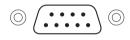
コネクタの形状

USB コネクタ（A タイプ）

USB規格対応の機器を接続します。接続できる機器には、「USB対応」などの表示があります。USB対応機器には、マウス、キーボード、プリンタ、モデム、スピーカなどがあります。
USB機器を接続するときは、パソコンの電源を切る必要がありません。

コネクタの形状

RS-232C コネクタ（D-Sub 9 ピン、オス）

一般に「シリアルインターフェース」と呼ばれます。シリアルインタフェース機器（またはシリアル機器）の中には、D-Sub 25ピンのものもありますから、注意が必要です。
RS-232C対応機器には、モデムやターミナルアダプタ（TA）があります。

コネクタの形状

プリンタコネクタ（D-Sub 25 ピン、メス）

Windowsパソコン用の多くのプリンタは、このコネクタに接続するように作られています。一般に「パラレルインタフェース」と呼ばれます。プリンタ側は 36 ピンになっています。
USB対応のプリンタをUSBコネクタに接続することもできます。

コネクタの形状

ディスプレイコネクタ（D-Sub 15 ピン、メス）

パソコン用のCRTディスプレイや液晶ディスプレイを接続します。

コネクタの形状

S 映像出力コネクタ

S 映像入力端子のあるテレビを接続します。

コネクタの形状

ご参考

コネクタの違う機器も変換アダプタを使って接続できることがあります。変換アダプタにも「PC/AT互換機対応」などの表示がありますから、よく確かめてお使いください。

周辺機器の接続のしかた

（電源）ランプ点灯中は周辺機器を接続しないでください

周辺機器を接続するときは、必ずパソコンと周辺機器の電源を切っておいてください。パソコンや周辺機器の故障や誤動作の原因になります。（USB 機器は例外です。）

1 **パソコンと周辺機器の電源を切ります。**

2 **パソコンと周辺機器を接続します。**

コネクタにネジがついているときは、ネジを締めてコネクタを固定してください。

3 **周辺機器の電源を入れます。**

4 **パソコンの電源を入れます。**

拡張 プリンタで印刷する

プリンタをつないで印刷するには、次の準備が必要です。
作業内容や手順などは、プリンタの説明書も併せてご覧ください。

- Windowsパソコン用のプリンタ(「Windows 98対応」「DOS/Vパソコン対応」「PC/AT 互換機対応」または「USB 対応」)を用意する。
- パソコンにプリンタを接続する。
- プリンタドライバを、パソコンにインストールする。

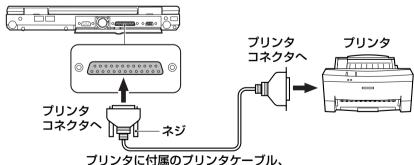
プリンタを接続する

Windows 98 対応タイプのプリンタを接続する

プリンタを接続するときは、必ずパソコンと周辺機器の電源を切っておいてください。パソコンやプリンタの故障や誤動作の原因になります。

1 パソコンとプリンタの電源を切ります。

2 パソコン後面のコネクタカバーを開きます。

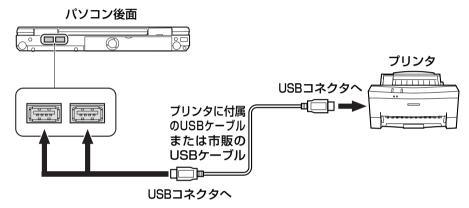
3 プリンタケーブルを、パソコンのプリンタコネクタに接続します。
ネジを締めてコネクタを固定してください。

4 プリンタにプリンタケーブルを接続します。

5 プリンタの電源を入れます。

6 パソコンの電源を入れます。

印刷のしかたについては、各アプリケーションソフトの説明書またはヘルプをご覧ください。

USB タイプのプリンタを接続する

USB タイプのプリンタは、電源を入れたまま接続できます。
左右 2 つのコネクタのどちらに接続してもかまいません。

プリンタドライバをインストールする

プリンタを使用するためには、プリンタドライバのインストールが必要です。
プリンタの説明書を読んで、プリンタドライバをインストールしてください。プリンタに付属のフロッピーディスクや CD-ROM を使うこともあります。

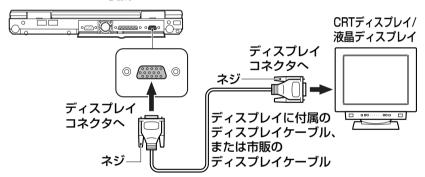
拡張 外部ディスプレイに表示する

ディスプレイコネクタにCRTや液晶ディスプレイ、またはテレビを接続して、画面を表示することができます。
パソコンのディスプレイと同時表示を行うには、1024 x 768 ドット以上が表示可能なディスプレイが必要です。それ以外の外部ディスプレイでは、正常に表示されません。

CRT ディスプレイ／液晶ディスプレイを接続する

1 パソコンとディスプレイの電源を切ります。

2 パソコン後面のコネクタカバーを開きます。

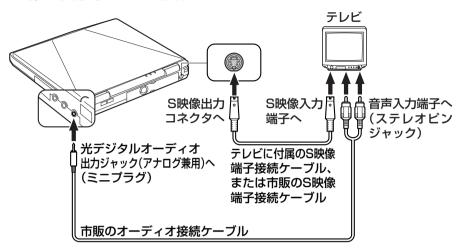
3 ディスプレイケーブルを、パソコンのディスプレイコネクタに接続します。
ネジを締めてコネクタを固定してください。

4 ディスプレイにディスプレイケーブルを接続します。

5 ディスプレイの電源を入れます。

6 パソコンの電源を入れます。

ご参考
画面の表示先を切り替える（☞127ページ）で、CRT ディスプレイ / 液晶ディスプレイの表示を有効にする必要があります。

テレビを接続する

S 映像入力端子付のテレビと接続します。

1 パソコンとテレビの電源を切ります。

2 S映像端子接続ケーブルのパソコン側のコネクタにできるだけ近い位置に、付属のコア (S 映像端子接続ケーブル用) を取り付けます。

コアにケーブルをはさみ込み(①)、カチッと音がするように閉じてください(②)。コアは、パソコンから電波がもれるのを防ぐための部品です。

3 コアを取り付けた方のコネクタを、パソコン後面のS映像出力コネクタに接続します。

4 もう一方のコネクタを、テレビの S 映像入力端子に接続します。

5 パソコンとテレビの電源を入れます。

ご参考

- パソコンとテレビは直接接続してください。ビデオデッキなどを通して接続すると、画像が乱れることがあります。
- 画面の表示先を切り替える(☞127ページ)で、テレビの表示を有効にする必要があります。

CRT ディスプレイ／液晶ディスプレイの情報を設定する

ディスプレイの情報を設定しないと、ディスプレイの性能が発揮できない場合があります。

1 **スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。**

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

2 **「設定」タブをクリックし、［詳細］をクリックします。**

3 **「モニタ」タブをクリックし、［変更］をクリックします。**

「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されます。

4 **［次へ］をクリックします。**

5 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選び、[次へ] をクリックします。

6 「すべてのハードウェアを表示」にチェックマークを付け、接続する外部ディスプレイの「製造元」と「モデル」を設定して、[次へ] をクリックします。

7 [次へ] をクリックします。

8 [完了] をクリックします。

その後設定画面などが表示された場合は、画面の指示に従ってください。

9 画面右上の ✕ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

外部ディスプレイの解像度を変える

ディスプレイの解像度や色を変える（☞100 ページ）を参照してください。

画面の表示先を切り替える

1 スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

2 「設定」タブをクリックし、[詳細] をクリックします。

3 「画面」タブをクリックし、表示したいディスプレイのボタンをクリックして有効にします。

複数のディスプレイを有効にすることもできます。

4 [OK] をクリックします。

5 確認画面で、[はい] をクリックします。

6 [OK] をクリックして「画面のプロパティ」画面を閉じます。

7 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

ご参考

- 動画の再生中やゲームソフトの使用中は、表示モードが切り替わらないことがあります。
- タスクバーの をクリックして、「基本設定」－目的のディスプレイをクリックしても表示を有効にすることができます。

2 つのディスプレイに分けて表示する

内蔵ディスプレイと外部ディスプレイを用いてマルチモニタ機能を利用することができます。詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

マルチモニタ機能を設定するには

1. **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。**
   「画面のプロパティ」画面が表示されます。
2. **「設定」タブをクリックします。**
3. **「2」と書かれているディスプレイをクリックします。**
4. **確認画面で、[はい] をクリックします。**
5. **[OK] をクリックして「画面のプロパティ」画面を閉じます。**
6. **画面右上の ✕ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

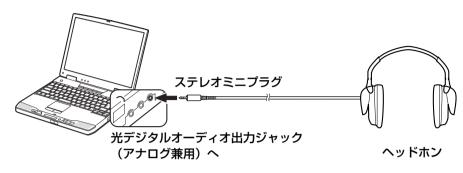
プライマリ／セカンダリを変更するには

1. **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。**
   「画面のプロパティ」画面が表示されます。
2. **「設定」タブをクリックし、[詳細] をクリックします。**
3. **「画面」タブをクリックし、有効になっている表示デバイスのボタンをクリックし、プライマリ／セカンダリを設定します。**
4. **[OK] をクリックします。**
5. **確認画面で、[はい] をクリックします。**
6. **[OK] をクリックして「画面のプロパティ」画面を閉じます。**
7. **画面右上の ✕ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

ご参考

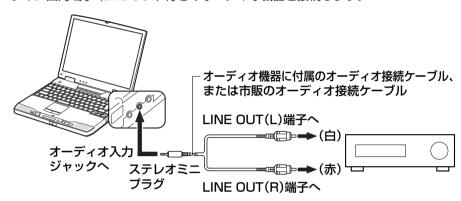
動画表示は、「プライマリ」に設定したディスプレイのみに表示されます。

拡張 ヘッドホンで聴く

ヘッドホンは、定格出力 125mW（インピーダンス 8 Ω）のものをお使いください。

拡張 外部機器から音声を入力する

ライン出力端子付きのオーディオ機器や外部マイクを接続して、アナログ音声を入力できます。

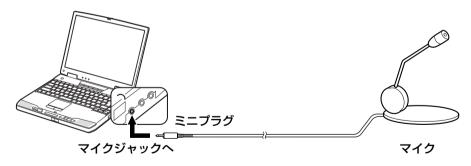
オーディオ機器からアナログ音声を入力する

ライン出力端子（LINE OUT）付きのオーディオ機器と接続します。

外部マイクから音声を入力する

接続できるマイクの仕様は次のとおりです。

タイプ：エレクトレットコンデンサマイク

電源電圧：2.5V

適合インピーダンス：2 k Ω

拡張 USB 接続カメラで画像を取り込む

USBコネクタと別売のUSB接続カメラ（CE-AG07）を接続すると、静止画や動画が取り込めます。動画や静止画を取り込むには、USB接続カメラに付属の「カメラビューア」（USB接続カメラ用ソフト）を使います。

画像の取り込みの操作については、カメラビューアのヘルプをご覧ください。

PC カードを使う

PCカードをパソコンのPCカードスロットに差し込むと、周辺機器をつないだときと同じ役割をはたしたり、パソコン自体の機能を増やしたりすることができます。

このパソコンで使える PC カード

- PCMCIA Rel.2.1/JEDIA Ver 4.2 規格に準拠した **Type II** の PC カード
- **ZV ポート /CardBus 対応**の PC カード

ご参考

PCMCIA（Personal Computer Memory Card International Association）はアメリカの PC カード標準化推進団体の略称です。JEIDA（Japan Electronic Industry Development Association）は日本電子工業振興会の略称です。両者は共同で PC カードの規格を決めています。

PC カードの種類

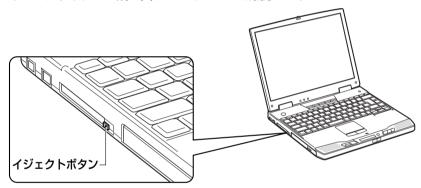
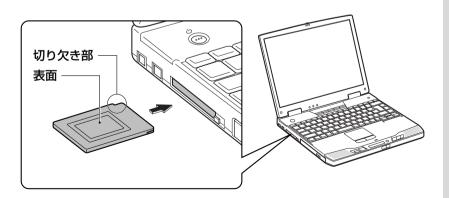
PC カードには、次のような種類があります。

メモリカード	データを保存して、持ち運ぶことができます。フロッピーディスクに比べて大容量のデータの保存や移動が可能です。
携帯電話用接続カード	携帯電話を使ってインターネット接続するためのPCカードです。
ISDN 接続用 TA（ターミナルアダプタ）カード	PC カードタイプの TA（ターミナルアダプタ）です。TA を RS-232C コネクタなどに接続した場合と同じ働きをします。
PC カードアダプタ	デジタルカメラやインターネットビューカムで使うスマートメディアなどに保存されたデータをパソコンに取り込むことができます。
インタフェースカード	SCSI（スカジー）や IEEE（アイトリプルイー）1394 など、規格の違う端子を持つ機器との接続が可能になります。

PC カードを差し込む

ご参考

- 初めてPCカードを差し込んだときは、自動的に対応するドライバソフトがインストールされます。インストールされない場合は、警告音が鳴り、画面が表示されますので、画面の指示に従ってドライバソフトをインストールしてください。
- PC カード型モデム (PHS および携帯電話対応通信カードも含む) を使用するときは、セットアップユーティリティのAdvancedメニュー (☞148 ページ) の「COM Port」の項目を「xxxxx/Disabled」、または、「Disabled/xxxxx」に設定してください。この設定をしないと、PC カード型モデムが正常に動作しなくなります。

1 イジェクトボタンが飛び出していないことを確認します。

2 表面を上に、切り欠き部を左奥にして、しっかりと差し込みます。

PC カードを取り出す

取り出す前に、パソコンの操作で、PC カードの使用を停止する必要があります。

必ず下記の手順どおりに操作してPCカードを取り出してください。正しく操作して取り出さないと、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

1 **スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「PC カード（PCMCIA)」アイコンをダブルクリックします。**

「PC カード（PCMCIA）のプロパティ」画面が表示されます。

タスクバーの（PCカードインジケータ）をダブルクリックして、画面を表示することもできます。

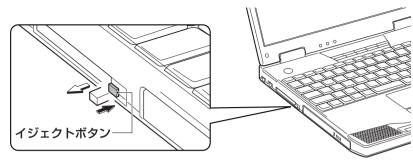
2 **表示されている PC カードをクリックし、［停止］をクリックします。**

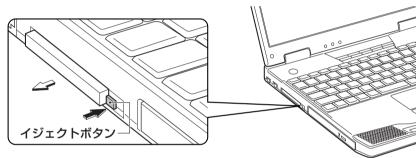
パソコンが使用を停止すると、次のメッセージ画面が表示されます。

3 **［OK］をクリックして画面を閉じます。**

4 **「PC カード（PCMCIA）のプロパティ」画面の［OK］をクリックして画面を閉じます。**

5 **画面右上の ✕ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

6 イジェクトボタンを押して、ボタンを飛び出した状態にします。

7 飛び出したイジェクトボタンを押し込み、PC カードを取り出します。

ボタンを押し込むと、PCカードが少し出てきますので、引き出してください。

ご注意　PC カードは熱くなっていることがあります

PCカードは、急に強くつかまないでください。PCカードによっては、長時間使用した場合、熱くなるものがあります。取り出すときに注意してください。

8 イジェクトボタンが飛び出したままのときは、必ず元の位置まで押し込みます。

拡張 メモリを増設する

メモリを増やすと、パソコンが一時的に記憶するデータ容量を増やすことになります。その結果、大容量のデータを処理できるようになったり、複数のアプリケーションソフトを起動しても、快適に操作できるようになります。
このパソコンには、あらかじめ64MB（メガバイト）のメモリが内蔵されています。別売の増設RAMボードを取り付けると、64MBまたは128MBのメモリを追加することができます。

メモリをお買い求めの際は

次の別売増設RAMボードをお求めください。

型名	容量	増設後の合計メモリ
CE-M544B	64MB	128MB
CE-M545B	128MB	192MB

増設RAMボードを取り付ける

ご注意

RAMボードは静電気に非常に弱い部品です。そのため、身体に残った静電気などで破損することがあります。取り扱うときは、必ず次の事項を守ってください。

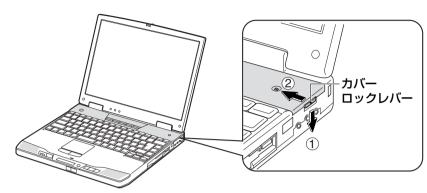
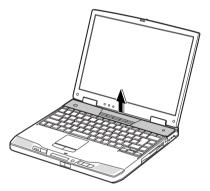
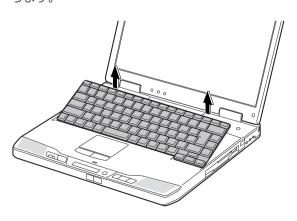
- 取り扱う前に、金属に触れるなどして身体の静電気を逃がしておく。
- 静電気の起きやすい場所（カーペットの上など）では、取り付け作業をしない。
- RAMボードの端子部分は、手で触れない。
- RAMボードを保管するときは、RAMボードを覆っていた静電気保護材、またはアルミ箔などの導電性の保護材で覆う。

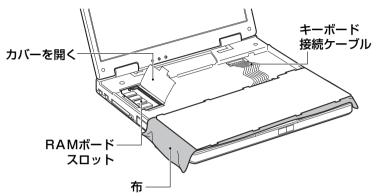
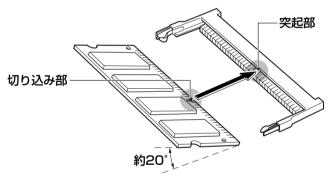
1 パソコンの電源を切り、バッテリパックとACアダプタを取り外します。

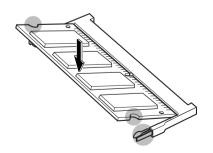
バッテリパックの取り外し方については、**バッテリパックを交換する**（☞77ページ）をご覧ください。

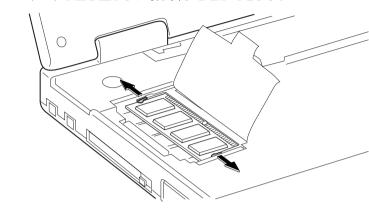
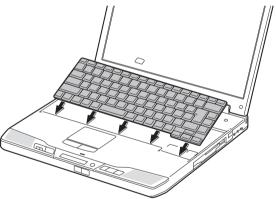
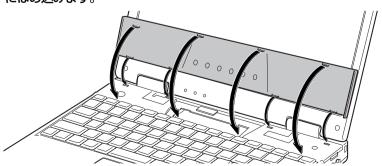
ご注意

- 必ずパソコンの電源を切り、ACアダプタを取り外してください。感電の原因になります。
- 長時間使用した直後は、パソコン内部が熱くなっていることがあります。温度が下がるのを待ってから取り付けてください。

2 カバーロックレバーを押しながら（①）、カバーを左にずらします（②）。

3 カバーを、まっすぐ上に持ち上げて、取り外します。

4 キーボードのディスプレイ側にある黒い突起部を、ゆっくり持ち上げます。
キーに指をひっかけて強く引っ張らないでください。キーが外れることがあります。

5 **キーボードを手前に裏返します。**

- キーボード接続ケーブルを引っ張って、抜かないようにしてください。
- パソコンに傷がつかないように、布をキーボードの下に敷いてください。

6 **RAM ボードの切り込み部を、スロットの突起部に合わせて、斜めにしっかり押し込みます。**

7 **RAM ボードの左右の切り込み部を、スロットの突起部に合わせて、ゆっくりと押し込みます。**

正しく取り付けられると、「カチッ」と音がします。

RAM ボードを取り外すときは

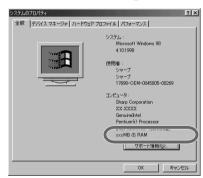
RAM ボードスロットの 2 つのツメを外側に開きます。
RAM ボードが立ち上がり、取り外すことができます。

8 キーボードの5箇所のツメをパソコンの切り込み部にはめこみ、しっかり奥まで差し込んでから、静かにキーボードを元の位置に戻します。

9 キーボードを正しく取り付けてから、カバーのツメをパソコンの切り込み部にはめ込みます。

10 カバーをカチッと音がするまで右に押して、取り付けます。

11 バッテリパックとACアダプタを取り付けます。

取り付けが終わったら、電源を入れてメモリ容量を確認してください。

メモリの容量を確認する

1 スタートメニューから、「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

メモリ容量が表示されます。

（計算上の値より少ない値が表示されることがあります。）

2 ［OK］をクリックして、画面を閉じます。

3 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

付録

付録 シャープ独自のフォントを使う

このパソコンには、シャープ独自のTrue Typeフォント（2種類）がインストールされています。付属のCD-ROMには、さらに11種類が収録されています。

インストールされているフォントを使う

インストールされている2書体は、液晶画面で見やすく、読みやすくなるように設計されたLCフォントです。インターネットのブラウザソフトやメールソフトが読みやすくなります。

この2書体は、各ソフトウェアの画面設定の書体を変更するだけで使用できます。

SH G30-M：すべての文字が同じ幅を持つモノスペースフォントで、文章の本文から小見出しまでの表示に適しています。

SH G30-P ：文字ごとに幅を変えて見た目に美しいように考えられているプロポーショナルフォントで、文字形状に合わせた字詰めにより、より美しく、読みやすい文章を表示できます。

SH G30-M
優Intelligence

SH G30-P
優Intelligence

CD-ROMに用意されているフォントを使う

次の11書体は、お好みのフォントをインストールしてお使いください。

ページデザイナー（ホームページ／マルチメディア文書作成ソフト）がインストールされているモデルでは、※マークのフォントはインストールされています。

SH スリムタッチ	SH 丸ポップ W7	SH 角ポップ W7	SH クリスタルタッチ	SH ダイヤタッチ	SH ブラシタッチ
優 ※	優 ※	優 ※	優	優	優

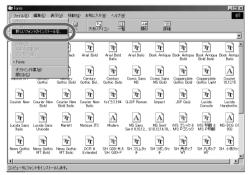
SH プリンセスタッチ	SH リボンタッチ	SH ロボットタッチ	SH つくしタッチ	SH 小枝タッチ
優	優 ※	優	優	優 ※

CD-ROM からフォントをインストールする

1 「アプリケーション CD-ROM ディスク 1」をドライブにセットします。

2 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「フォント」アイコンをダブルクリックします。

「Fonts」画面が表示されます。

3 「ファイル」メニューの「新しいフォントのインストール」をクリックします。

「フォントの追加」画面が表示されます。

4 「ドライブ」欄の ▼ をクリックし、リストから「r:」をクリックします。

5 「フォルダ」欄で「shpfont」をダブルクリックします。

「フォントの一覧」欄にフォントが一覧表示されます。

6 「フォントの一覧」欄でインストールしたいフォントを選び、「フォントフォルダにフォントをコピーする」がチェックされていることを確認して、[OK]をクリックします。

フォントがインストールされます。

7 画面右上の ☒ をクリックして「Fonts」画面を閉じます。

8 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

付録 マウスドライバを変更する

市販のマウスをお使いの際、ホイール機能などが動作しない場合には、以下の手順でマウスドライバを変更してください。

マウスドライバを変更する

① スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックします。
②「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
③「マウス」をダブルクリックします。
④「Synaptics PS/2 TouchPad」をダブルクリックします。
「Synaptics PS/2 TouchPad のプロパティ」画面が表示されます。
⑤「ドライバ」タブをクリックします。
⑥［ドライバの更新］をクリックします。
「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されます。
⑦［次へ］をクリックします。
⑧「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する」をクリックして選択し、［次へ］をクリックします。
⑨［次へ］をクリックします。
⑩「更新されたドライバ（推奨）」をクリックします。
⑪［次へ］をクリックします。
⑫［次へ］をクリックします。
⑬ ファイルのコピー完了後、［Enter］キーを押します。
「システム設定の変更」画面が表示されます。
⑭ マウスの説明書に従って必要な設定をします。

パッド型ポインティングデバイス用ドライバをインストールする

マウスドライバを変更すると、パッド型ポインティングデバイスのスクロール機能が使用できなくなります。パッド型ポインティングデバイスを再度お使いになる場合は、以下の手順でパッド型ポインティングデバイス用ドライバを再インストールしてください。

① 付属の「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 2」をドライブにセットします。
② スタートメニューから「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
③「名前」ボックスに **R:\MOUSE\TOUCHPAD\SETUP** と入力し、[OK] をクリックします。
④ [次へ] をクリックします。
「インストール先の選択」ダイアログボックスが表示されます。
⑤ [次へ] をクリックします。
「ファイルコピーの開始」ダイアログボックスが表示されます。
⑥ [次へ] をクリックします。
「セットアップ完了」ダイアログボックスが表示されます。
⑦ [完了] をクリックします。
Windows が再起動されます。
⑧ Windows が起動したら、いったん電源を切ってマウスを外します。

付録 セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは、パソコンの動作環境に関する設定(接続した周辺機器の有効／無効、パスワードの設定、省電力設定など) を変更するためのユーティリティです。

セットアップユーティリティの内容は、工場出荷時に適切に設定されています。必要なとき以外は操作しないでください。

セットアップユーティリティには、次のようなメニューがあります。

- Main メニュー
- Power メニュー
- Advanced メニュー
- Security メニュー
- Exit メニュー

ご参考

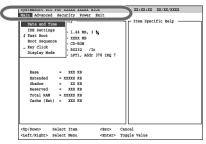
誤って変更してしまったときは、**すべての設定を初期値に戻す**(☞154ページ) の操作をしてください。

設定内容を変更する

1 **電源を入れます。**

2 **画面の左下に「<F2>to enter System Configuration Utility」と表示されているとき、F2 キーを押します。**

セットアップユーティリティの画面が表示されます。

3 **設定したいメニューをクリックします。**

選んだメニューの設定項目が表示されます。

4 設定項目をクリックします。

```
  Date and Time
  IDE Settings
√ Fast Boot
  Boot Sequence
_ Key Click
  Display Mode
```

“ √ ” または “ __ ” マークのある項目は
クリックするたびに設定が切り替わります。

“ √ ”：有効
“ __ ”：無効

マークのない項目は
クリックすると、サブメニューが表示されます。
“•”マークのついた項目が現在の設定です。他の項目をクリックすると、“•”マークが移動します。設定したい項目をクリックして “•” マークを移動し、[OK] をクリックします。

キーボードで操作するには
次のキーを押します。（画面の下段に操作案内が表示されています。）

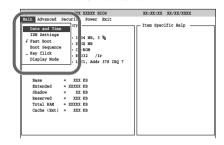
キー	操作
← →	：メニューを選びます。
↓ ↑	：項目を選びます。
Esc	：設定を取り消し、1 ステップ前の状態に戻ります。
↵	：設定内容を切り替えます。
(スペース)	：サブメニューで設定内容を切り替えます。

5 **Exit メニューの「Save Changes and Exit」をクリックします。**

6 **「Press <OK> to save the current setup parameters to CMOS RAM.」と表示されたら、[OK] をクリックします。**
変更した内容を保存して、Windows 98 が起動します。

ご参考
セットアップユーティリティの操作中は、省電力設定は働きません。ディスプレイパネルを閉じないでください。

Main メニュー

日付と時刻、システム起動時にデータを読み取りに行く場所(デバイス)など、システムの基本的な設定項目があります。

Date and Time

時刻と日付を設定します。(24 時間制で 時／分／秒、月／日／年の順)

IDE Settings

ハードディスクのタイプを設定します。通常はご購入時のままお使いください。

Fast Boot

起動時のメモリチェックを省略して、起動時間を短縮する／しないを設定します。

"√" 表示時　：短縮する　　"_" 表示時　：短縮しない

Boot Sequence

システム起動時に使用するデバイスの順序を設定します。

1st Boot Device　：最初に使用するデバイス
2nd Boot Device　：2 番目に使用するデバイス
3rd Boot Device　：3 番目に使用するデバイス
4th Boot Device　：4 番目に使用するデバイス
Hard Disk C　：ハードディスクドライブ(C:)から起動する
CD-ROM Drive　：CD-ROM ドライブから起動する
Diskette A　：フロッピーディスクドライブ(A:)から起動する
LAN　：この機能は、このパソコンでは使用できません

Key Click

キーを押したときにクリック音を鳴らす／鳴らさないを設定します。

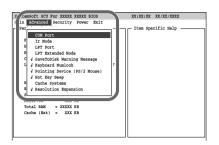
"√" 表示時　：鳴らす　　"_" 表示時　：鳴らさない

Display Mode(Windows 98 環境では無効)

電源を入れた直後の画面表示モードを設定します。

Auto　：外部ディスプレイに表示する(外部ディスプレイが接続されていない場合、内蔵ディスプレイに表示する)
LCD Only　：内蔵ディスプレイに表示する
Simultaneously　：外部ディスプレイ、内蔵ディスプレイともに表示する

Advanced メニュー

赤外線通信機器やプリンタなど、周辺機器と組み合わせて使うときに必要なポート関連の設定項目があります。

COM Port

COM 1、COM 2 それぞれへの割り当て、または使用禁止を設定します。

- Disabled / Disabled：COM 1、COM 2 ともに使用禁止
- Disabled / Ir：COM 1 は使用禁止、COM 2 は赤外線通信ポート
- RS-232 / Disabled：COM 1 は RS-232C、COM 2 は使用禁止
- RS-232 / Ir：COM 1 は RS-232C、COM 2 は赤外線通信ポート

Ir Mode

赤外線通信ポートのモードを設定します。通常はご購入時（IrDA 1.1）のままお使いください。

- ASK：ザウルスとの通信に使用するモード
- IrDA 1.0：赤外線通信の標準モードのひとつ
- IrDA 1.1：IrDA 1.0 に対し、より高速なデータ転送を可能にするモード

LPT Port

プリンタポートの I/O アドレスと IRQ を割り当てます。または使用禁止にします。

- Disabled：使用禁止。
- LPT1, Addr 378 IRQ 7：I/O ポートアドレスは 378、IRQ は 7
- LPT2, Addr 278 IRQ 5：I/O ポートアドレスは 278、IRQ は 5
- LPT3, Addr 3BC IRQ 7：I/O ポートアドレスは 3BC、IRQ は 7

LPT Extended Mode

プリンタポートのモードを設定します。使用する機器に合わせて設定してください。

- Output Only：出力のみのモード
- Bi-Directional：双方向モード
- EPP：Enhanced Parallel Port モード
- ECP：Extended Capabilities Port モード

SaveToDisk Warning Message

休止状態のときにシステムの状態を保存する領域がハードディスクに確保されていないとき、電源オン時に警告メッセージを表示する／表示しないを設定します。

- "√" 表示時：表示する　　"_" 表示時：表示しない

Keyboard Numlock

外付けキーボードを接続して数字キーロックモードで使用するときに、このパソコンのキーボードをテンキーモードに切り替える／切り替えないを設定します。

- "√" 表示時：切り替える　　"_" 表示時：切り替えない

Pointing Device(PS/2 Mouse)

内蔵ポインティングデバイス、およびPS/2マウスの有効／無効を設定します。シリアルマウスを使用する場合は無効に設定します。

- "√" 表示時：有効にする　　"_" 表示時：無効にする

Hot Key Beep

Fn キーと他のキーを組み合わせて押したときに、音を鳴らす／鳴らさないを設定します。

“√”表示時　：鳴らす　“_”表示時　：鳴らさない

Cache Systems

1次キャッシュ（L1 Cache）、および2次キャッシュ（L2 Cache）の有効／無効を設定します。通常は出荷時設定のままお使いください。

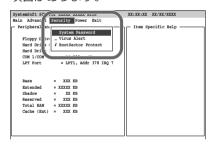
Disabled　：無効にする　Write Back　：有効にする

Resolution Expansion（Windows 98 環境では無効）

640 x 480 ドットまたは 800 x 600 ドット表示時に、内蔵ディスプレイの解像度（1024 x 768 ドット）に合わせて拡張して表示するか、拡張せずに中央に表示するかを設定します。

“√”表示時　：拡張する　“_”表示時　：拡張しない

Security メニュー

パスワードの登録、ウィルス侵入時の警告など、パソコンの安全機能に関する設定項目があります。

System Password

パスワードの登録・変更、有効／無効を設定します。「パスワードを登録／変更／削除する」（☞下記）をご覧ください。

Virus Alert

ウイルスが侵入した可能性がある（ハードディスクのブートセクタが変更された）とき、警告メッセージを表示する／表示しないを設定します。

“√”表示時　：表示する　“_”表示時　：表示しない

BootSector Protect

ハードディスクのブートセクタへの書き込みを禁止するか設定します。

書き込みを禁止をすることで、ある種のコンピュータウィルスの感染を防ぐことができます。再インストールするときなどは、“_”表示にしてください。

“√”表示時　：禁止する　“_”表示時　：禁止しない

パスワードを登録／変更／削除する

パスワードを登録しておくと、起動時にパスワード入力画面が表示され、パスワードを知らない人の使用を防ぐことができます。

必要のないときは、パスワードを設定しないでください。パスワードを忘れると、パソコンが起動できなくなります。

1 Security メニューをクリックします。

設定項目が表示されます。

2 「System Password」をクリックします。

パスワード入力画面が表示されます。

数字キーロックモードは解除しておくことを、お勧めします。

はじめて登録するとき

① 「Enter new Power-On Password」で、パスワードを入力し、[Enter]キーを押します。

② 「Verify new Power-On Password」で、確認のためもう一度同じパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。

変更するとき

① 「Enter old Power-On Password」で、現在のパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。

② 「Enter new Power-On Password」で、新しいパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。

③ 「Verify new Power-On Password」で、確認のためもう一度同じパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。

削除するとき

① 「Enter old Power-On Password」で、現在のパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。

② 「Enter new Power-On Password」で、[Enter]キーを押します。

③ 「Verify new Power-On Password」で、[Enter]キーを押します。

3 スペースキーを押し、「Enable Password」の左にチェックマーク（×）を付けます。（削除するときは、チェックマークを外します。）

4 [OK] をクリックします。

5 Exit メニューをクリックします。

設定項目が表示されます。

6 「Save Changes and Exit」をクリックします。

確認画面が表示されます。

7 [OK] をクリックします。

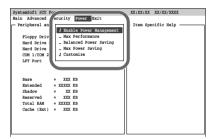
設定内容を保存し、Windows 98 が起動します。

パスワードを登録したパソコンを起動する

起動時に表示されるパスワード入力画面にパスワードを入力します。入力しないと、次の操作に進むことができません。

パスワードの入力を3回間違えると、強制的に電源が切れます。このときは、5秒以上たってから、電源を入れ直してください。

Power メニュー

省電力機能に関する設定項目があります。

省電力機能の有効／無効を設定する項目

Enable Power Management

省電力機能の有効／無効を設定します。

“ √ ” 表示時　：有効にする　　“ _ ” 表示時　：無効にする

「Enable Power Management」が有効のときに設定可能な項目

「Max Performance」、「Balanced Power Saving」、「Max Power Saving」は、同時に設定することはできません。

Max Performance

省電力機能を最小にし、本体の性能を最大に利用できるように「Customize」の各項目の値を設定します。ただしバッテリでの駆動時間は、他の設定に比べ短くなります。

“ √ ” 表示時　：有効にする　　“ _ ” 表示時　：無効にする

Balanced Power Saving

本体の性能、バッテリでの駆動時間ともにバランスの取れた状態になるように「Customize」の各項目の値を設定します。

“ √ ” 表示時　：有効にする　　“ _ ” 表示時　：無効にする

Max Power Saving

省電力機能を最大にし、バッテリでの駆動時間が最長になるように「Customize」の各項目の値を設定します。ただし本体の性能は、他の設定に比べ低下します。

“√”表示時　：有効にする　“_”表示時　：無効にする

Customize

省電力機能の内容を細かく設定します。

Windows 98 環境では、Battery Low Warning Beep 以外の項目は無効になります。

- **Hard Disk Power Down After**

  一定時間ハードディスクにアクセスがないとき、ハードディスクへの電源供給を停止する／しないを設定します。

  1Min ～ 20Min　：設定した時間後（1 ～ 20 分）に電源供給を停止する

  Disabled　：電源供給を停止しない

- **Standby After**

  スタンバイモード（Windows98 のスタンバイ状態ではなく、CPU クロックやディスプレイ、ハードディスクの電源を停止させるモード）開始のためのタイムアウト時間を設定します。

  1Min ～ 16Min　：設定した時間後（1 ～ 16 分）に移行する

  Disabled　：移行しない

- **Suspend After**

  一定時間機器が使用されていないとき、省電力モードに移行する／しないを設定します。移行する省電力モードは、下記の Suspend Data to の設定により決まります。

  1Min ～ 15Min　：設定した時間後（1 ～ 15 分）に移行する

  Disabled　：移行しない

- **Suspend Data to**

  システムスタンバイ状態が開始されるとき、移行する状態を設定します。

  RAM　：スタンバイ状態　Disk　：休止状態

- **Cover Close**

  カバーを閉じたときのパソコンの状態を設定します。

  Video Off　：ディスプレイをオフにする

  CRT Display　：ディスプレイ出力を外部ディスプレイに切り替える

  Suspend　：システムスタンバイ状態に移行する

- **Battery Low Warning Beep**

  バッテリパックの容量が少なくなったとき、警告音を鳴らす／鳴らさないを設定します。

  Enabled　：鳴らす　Disabled　：鳴らさない

- **VGA Activity**

  画面表示内容の変更（時計やスクリーンセーバーなど）が省電力機能に影響する／しないを設定します。

  Enabled　：省電力機能は画面が変更されると機能しない

  Disabled　：省電力機能は画面の変更を無視して機能する

- **Resume On Time**

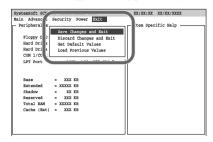
  スタンバイ状態からの復帰時刻を、時、分、秒で設定します。

- **Resume On Modem/LAN**

  モデムに電話がかかってきたとき、または内蔵LANインターフェースが起動用パケットを受信したとき、スタンバイ状態から復帰させる／させないを設定します。

  Enabled　：復帰させる　Disabled　：復帰させない

Exit（終了）メニュー

セットアップユーティリティの設定を、取り消す、初期値に戻す、設定内容に変更するなどを選んで、終了する画面です。

Save Changes and Exit
変更内容を保存して、システムを再起動します。

Discard Changes and Exit
変更内容を保存しないで、セットアップユーティリティを終了します。

Get Default Values
セットアップユーティリティのすべての項目を初期値に戻します。

Load Previous Values
セットアップユーティリティのすべての項目を前回保存した値に戻します。

すべての設定を初期値に戻す

1. **Exit メニューをクリックします。**
   設定項目が表示されます。
2. **「Get Default Values」をクリックします。**
   確認画面が表示されます。
3. **［OK］をクリックします。**

4. **Exit メニューをクリックします。**
   設定項目が表示されます。
5. **「Save Changes and Exit」をクリックします。**
   確認画面が表示されます。
6. **［OK］をクリックします。**
   すべての設定を初期値に戻し、Windows 98 が起動します。

付録 パソコンのお手入れ

お手入れをする際は、電源を切っておいてください。

キャビネット／通風孔／赤外線ポート

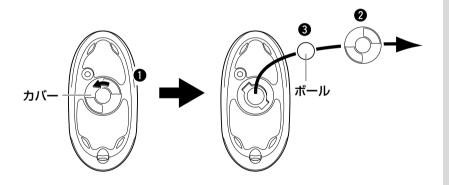
ほこりの出ない乾いた柔らかい布で拭きます。
通風孔にほこりなどが付着すると、本体の換気を妨げるおそれがあります。
赤外線通信ポートに汚れがあると、データ転送に障害が発生します。

ディスプレイ／パッド型ポインティングデバイス

ほこりの出ない乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、少量の中性洗剤を含ませて拭いてください。

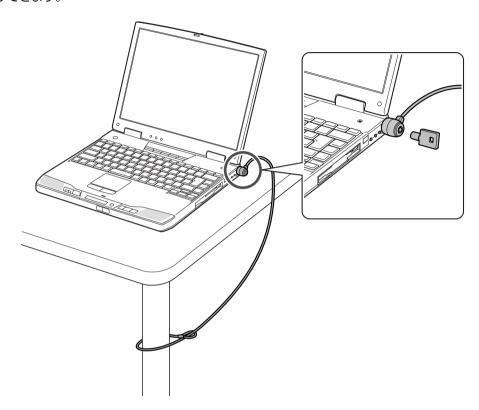
ワイヤレスマウス

マウスの中のボールおよびローラー部分は、次の手順で掃除してください。ボールおよびローラー部分は傷付けないでください。ほこりが付着しやすくなります。ほこりや糸くずなどが付着すると、マウスの動きが鈍くなります。

① 下図のようにボールを取り出します。

② 水、または水で薄めた中性洗剤でボールを洗い、ほこりの出ない乾いた柔らかい布で水分を拭きとって、よく乾かします。
③ マウスの中のローラー部分にほこりが付着していたら、つまようじなどでていねいに取り除きます。
④ マウス内のホコリや糸くずなどを取り除き、ボールを戻し、カバーを取り付けます。

お手入れの際に、アルコール、ベンジン、シンナーなどの強い化学薬品やぬれぞうきんは使用しないでください。変形・変色の原因となります。

付録 盗難を防止する

市販の盗難防止ロックを盗難防止ホール（ K ）につなぐと、パソコンを持ち運べないように固定することができます。

ご参考

盗難防止ホールは、マイクロセーバーセキュリティシステム等のセキュリティワイヤーに対応しています。製品についてのお問い合わせ先は、以下のとおりです。

日本ポラデジタル株式会社
〒 104-0032　東京都中央区八丁堀 1-5-2　はごろもビル
Tel：03-3537-1070　　Fax：03-3537-1071
URL：http://www.poladigital.co.jp

付録 故障かな？と思ったら

“故障かな？”と思っても、調べてみると故障ではないこともあります。修理をご依頼になる前に、ここに記載されている内容をお確かめください。

Windows 起動時（電源を入れたとき）のトラブル 158
画面表示に関するトラブル 159
キーボード・パッド型ポインティングデバイスに関するトラブル 160
ワイヤレスマウスに関するトラブル 160
フロッピーディスクに関するトラブル 161
ハードディスクに関するトラブル 162
CD に関するトラブル 162
通信に関するトラブル 163
周辺機器を使用する際のトラブル 165
その他のトラブル 166

ご参考

トラブルによっては、パソコンの故障ではなく、Windows 98やアプリケーションソフト、または周辺機器に関するトラブルの場合もあります。次の説明書やヘルプもあわせてご覧ください。

- Windows 98 ファーストステップガイド（別冊）
- スタートメニューの「ヘルプ」をクリックして表示されるヘルプ画面
- 付属のアプリケーションソフトの説明書やヘルプ
- 購入した周辺機器やアプリケーションソフトを使用しているときは、それらの説明書やヘルプ

Windows 起動時（電源を入れたとき）のトラブル

?電源を入れても ランプ、または ランプが点灯しない

- AC アダプタが正しく接続されているか確認してください。
- 別の電気機器を接続し、電源コンセントに電気がきているか確認してください。
- バッテリパックが正しくセットされ、充電されているか確認してください。
- バッテリの容量が一定水準以下のときは、AC アダプタを接続してください。
- 上記すべての操作を行ってもだめなときは、リセットスイッチを先のとがったもの（ボールペンなど）で押してから電源を入れてください。

?「Invalid system disk」と表示される

- フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされている場合は、フロッピーディスクを取り出し、何らかのキーを押してください。

?フロッピーディスクから起動できない

- フロッピーディスクドライブにセットしたフロッピーディスクが起動用かどうか確認してください。
- セットアップユーティリティの**Mainメニュー**（☞148ページ）で「Boot Sequence」の「1st Boot Device」が「Diskette A」になっているか確認してください。

?「WARNING-XX-RUN SCU」と表示される

- セットアップユーティリティの設定が消えています。セットアップユーティリティを起動し、セットアップユーティリティの各項目を初期値に戻します。（必ず日付と時刻を設定してください。）

画面表示に関するトラブル

? 画面が表示されない

- 何らかのキー、または電源ボタンを押して省電力機能が働いていないか確認してください。
- 電源ランプ、またはバッテリランプが点灯しているか確認し、パソコンに電源が供給されているか確認してください。
- バッテリパックが正しくセットされ、充電されているか確認してください。
- Fn + F5 キーを数回押し、表示が外部ディスプレイになっていないか確認してください。
- Fn + F11 キーを押し、ディスプレイがオフになっていないか確認してください。
- 上記すべての操作を行ってもだめなときは、**キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けない**(☞160ページ)の操作をしてください。

? 外部ディスプレイに何も表示されない／表示される画面が乱れる

- 外部ディスプレイの電源が入っているか確認してください。
- 外部ディスプレイが正しく接続されているか確認してください。
- Fn + F5 キーを数回押し、表示が内蔵ディスプレイになっていないか確認してください。
- Fn + F5 キーで表示先を切り替えると、まれに画面が正常に表示されないことがあります。再度 Fn + F5 キーで表示先を元に戻し、Windows 98 のコントロールパネルの「画面」で表示先を変えてください。
- 画面の領域の設定が外部ディスプレイの解像度より大きくなっていないか確認してください。
- ラジオやテレビなど強い磁界が発生するものから、十分離して設置してください。
- ラジオやテレビなどと別のコンセントに接続してください。

? Fn + F5 キーで画面が切り替わらない

- 外部ディスプレイのリフレッシュレートが60Hzに設定されていることを確認してください。外部ディスプレイが 60Hz より高い周波数で動作しているとき、Fn + F5 での表示の切り替えはできません。
- Windows 98 のコントロールパネルの「画面」で、表示先を切り替えてください。

? 画面モードが変更できない

- 一度800 x 600 ドット、256色に設定し、その後、希望する画面モードに設定してください。

キーボード・パッド型ポインティングデバイスに関するトラブル

? *キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けない*

- 以下の手順に従って操作してください。
  ① **Ctrl** ＋ **Alt** ＋ **Delete** キーを押し、表示される画面の指示に従って操作してください。
  ② 上記の操作を行ってもだめなときは、電源ボタンを4秒以上押し続けて強制的に電源を切り、その後 5 秒以上間隔をおいて再度電源を入れてください。
  ③ 上記の操作を行ってもだめなときは、ハードディスクランプが点灯していないことを確認した上で、リセットスイッチを先のとがったもの（ボールペンなど）で押して電源を切り、その後 5 秒以上間隔をおいて電源を入れてください。

? *パッド型ポインティングデバイスが正しく動作しない*

- ポインティングデバイスのパッド面や手が、水や汗でぬれていないか確認してください。パッド面が汚れているときは、汚れを拭き取ってください。
- PS/2マウスが接続されているとパッド型ポインティングデバイスは動作しません。パソコンの電源を切り、PS/2 マウスを取り外してください。
- セットアップユーティリティの Advanced メニュー（☞148 ページ）の「Pointing Device(PS/2 Mouse)」の項目が「√」になっているか確認してください。

ワイヤレスマウスに関するトラブル

? *ワイヤレスマウスが正しく動作しない*

- ワイヤレスマウス受信機が正しく接続されているか確認してください。
- マウスのボールおよびローラー部分に汚れやほこりが付着していないか確認してください。汚れているときは、汚れを拭き取ってください。（☞155 ページ）
- ワイヤレスマウス受信機の「CONNECT」ボタンを押した後、ワイヤレスマウスの「CONNECT」ボタンを押してから、ワイヤレスマウスを動かしてみてください。（☞88 ページ）
- ワイヤレスマウス受信機の設置場所を変更してみてください。
- ワイヤレスマウス受信機を裏返しにしてみてください。
- マウスパッドなどを利用し、ワイヤレスマウスが直接金属性のものに触れないようにしてみてください。

? ワイヤレスマウスのホイールを回してもウィンドウがスクロールしない

- 以下の手順に従って操作してください。
  ① スタートメニューから「設定」-「コントロールパネル」をクリックし、「マウス」アイコンをダブルクリックします。
  ②「ボタン」タブをクリックします。
  ③「MS Office互換のスクロール機能のみ使用」にチェックマークが付いていないことを確認します。

フロッピーディスクに関するトラブル

? フロッピーディスクへのデータの書き込みや読み取りができない

- フロッピーディスクが正しくセットされているか確認してください。
- ドライブ、ファイル名の指定に誤りがないか確認してください。
- フロッピーディスクがフォーマットされていないか、壊れている可能性があります。フォーマットするか、別のフロッピーディスクをセットしてください。
- フロッピーディスクに書き込めない場合は、書き込み禁止状態になっていないか確認してください。
- フロッピーディスクに書き込めない場合は、フロッピーディスクの空き容量が不足していないか確認してください。
- アンフォーマットのディスクをフォーマットできないときは、MS-DOSモードで再起動して次のコマンドでフォーマットしてください。

  FORMAT␣A: /F:1.44　　（2HD の場合）
  FORMAT␣A: /F:720　　（2DD の場合）

? 1.2MB タイプのフロッピーディスクが使えない

1.2MB タイプのフロッピーディスクには、次の制限があります。

- 1.2MB タイプのディスクでは起動できません。
- MS-DOS モードでは読み書きできません。
- SYS、DRVSPACE、DISKCOPY などのコマンドは実行できません。
- データを保存するときや1.44MBのディスクを使用するコンピュータとデータをやりとりするときは使わないでください。
- 特殊なフォーマットタイプ（2HD-1.21MBタイプなど）のディスクに対しては読み書きできません。

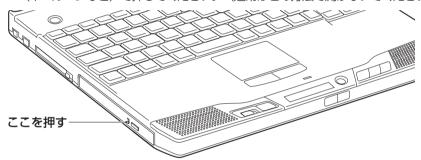
ハードディスクに関するトラブル

? ハードディスクへのデータの書き込みや読み取りができない

- ドライブ、ファイル名の指定に誤りがないか確認してください。
- ハードディスクの空き容量が不足していないか確認してください。
- Windows98の再インストールが正しく行えない場合は、セットアップユーティリティの Security メニュー（☞150 ページ）で、「BootSector Protect」の項目が“ __ ”表示状態になっているか確認してください。

CD に関するトラブル

? ドライブが開かない

- パソコンの電源が入っているか確認してください。
- LOCK スイッチを解除してください。
- パソコンの電源を切ってから、トレイにある丸いスイッチを先のとがったもの（ボールペンなど）で押してください。（通常はこの方法で開けないでください。）

? Windows 98 CD-ROM を要求するメッセージが表示される

- 「ファイルのコピー元」に次のように入力してください。
  C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS

? CD 操作ボタンを押しても動作しない

- LOCK スイッチが解除状態になっているか確認してください。
- デバイスマネージャで、CD 挿入の自動通知を有効にしてください。
  ① スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックします。
  ② 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
  ③ 「CD-ROM」をダブルクリックします。
  ④ 「MATSHITA UJDAXXX」をクリックし、[プロパティ] をクリックします。
  ⑤ 「設定」タブをクリックします。
  ⑥ 「挿入の自動通知」をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックします。
  ⑦ [閉じる] をクリックします。

? データの読み取りができない／ファイルの再生ができない

- ディスクが正しくセットされているか確認してください。
- ドライブ、ファイル名の指定に誤りがないか確認してください。
- ディスクに汚れや傷がないか確認してください。
- 再生しようとしているディスクやファイルがサポートされているか確認してください。
- ディスクをセットした直後は読み込みできません。10秒以上待ち、再度読み込み、再生などの操作をしてください。

通信に関するトラブル

? 赤外線（光）通信ができない

- セットアップユーティリティの Advanced メニュー（☞148 ページ）の下記の項目が設定されているか確認してください。
  「COM Port」　：「Disabled/Ir」または「RS-232/Ir」に設定。
  「Ir Mode」　：「IrDA 1.1」に設定。
- Windowsの電源の管理のプロパティで「システムスタンバイ」が「なし」になっているか確認してください。それでも通信できないときは、「ハードディスクの電源を切る」を「なし」に設定してください。
- 赤外線モードが無効になっていないか確認してください。
- パソコンと通信相手の赤外線（光）通信ポートがまっすぐに対向し、適切な距離になっているか、間に障害物がないか確認してください。
- 新携帯情報ツールと通信する場合は、新携帯情報ツールの電池があるか、リンクモードの設定が正しいか確認してください。
- 蛍光灯などから、十分離して操作してください。

? 内蔵モデムで通信ができない

- 電話回線が内蔵モデムのモデムジャックに正しく接続されているか確認してください。
- Windows 98や通信ソフトでのダイヤル方式（パルス式、トーン式）の設定が、接続された電話回線の種類と一致しているか確認してください。
- ネットワーク関連の設定（ネームサーバアドレスなど）が正しいか確認してください。
- 接続する際に設定するユーザ名やパスワードが正しいか確認してください。
- 通信ソフトウェアの COM ポートが正しく設定されているか確認してください。

- 回線ルート自動切替装置を取り付けていませんか？
  電話料金がもっとも安くなる回線を自動的に選択する装置を取り付けている場合は、モデムが正常に働かない可能性があります。装置を取り外すか、装置のメーカーにご相談ください。
- ホームテレホンやビジネスホンに接続していませんか？
  ホームテレホン、ビジネスホン、ボタン電話、キーテレホンなど多機能電話のジャックに、内蔵モデムをつなぐことはできません。切替機を用いて電話とモデムを切り替える必要があります。切替機については、多機能電話のメーカーにお問い合わせください。
- 構内交換機（PBX）に接続していませんか？
  構内交換機（PBX）にはデジタル回線のものがあり、その場合は内蔵モデムが使えません。PBXの保守部門やサービス会社に問い合わせて、一般アナログ公衆回線と同等であることを確認してください。
- キャッチホンを利用していませんか？
  NTTのキャッチホンサービスを利用していると、別の電話がかかってきたとき、通信が中断します。キャッチホンIIを利用すると、その心配がなくなります。詳しくは、NTT にお問い合わせください。

? 内蔵モデムでの通信速度が遅い

- 開いているアプリケーションの数をできるだけ減らしてください。
- 接続先や時間帯を変えてみてください。

? HUB（ハブ）に接続してもうまく使えない

- ネットワークの設定がネットワーク環境に合っていない可能性があります。下記の操作に従ってネットワークの設定を確かめてください。
  ① スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
  ② 「現在のネットワークコンポーネント」欄の「Realtek RTL8139(A) PCI Fast Ethernet NIC」を選択して、[プロパティ] をクリックします。
  ③ 「詳細設定」タブをクリックし、「プロパティ」欄の「Link Speed/Duplex Mode」を選択します。
  ④ 「値」を使用する環境に合った値に変更します。
  ⑤ [OK] をクリックして「ネットワークの設定」画面に戻り、[OK] をクリックします。
  ⑥ 確認画面で、[はい] をクリックします。
  Windows が再起動します。
- このパソコンの LAN は、MS-DOS モードでは使用できません。

周辺機器を使用する際のトラブル

? 増設機器や周辺機器の機能が働かない

- 機器が正しく取り付けられているか確認してください。
- 拡張した機器に必要なデバイスドライバが組み込まれているか確認してください。
- IRQ が不足していないか確認してください。

? プリンタへの出力ができない

- プリンタの電源が入っているか確認してください。
- プリンタが正しく接続されているか確認してください。
- プリンタがオンライン状態か確認してください。
- 用紙が正しくセットされているか確認してください。
- プリンタドライバがインストールされているか確認してください。
- セットアップユーティリティのAdvancedメニュー(☞148ページ)の「LPT Port」の項目が「Disabled」になっていないか確認してください。

? RS-232C コネクタに接続した機器が動作しない

- 正しい接続ケーブルを使用しているか確認してください。
- 機器が正しく接続されているか確認してください。
- アプリケーションソフトがRS-232C規格のインターフェイス機能に対応しているか確認してください。
- セットアップユーティリティの Advanced メニュー (☞148 ページ) の「COM Port」の項目が「RS-232/Disabled」または「RS-232/Ir」に設定されていることを確認してください。
- デバイスマネージャで、通信ポート(COM1)が使用不可に設定されていないか確認してください。

? 赤外線・モデム・TA が正常に動作しない

- 省電力機能が停止していることを確認してください。

? 光デジタルオーディオ出力ジャックに接続したオーディオ機器に音楽 CD の音が出力されない

- 以下の手順に従って操作してください。
  ① スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「マルチメディア」アイコンをダブルクリックします。
  ②「音楽 CD」タブをクリックします。
  ③「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」をクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックします。

? 光デジタルオーディオ出力ジャックにMDレコーダを接続して録音したときに音がとぶ

- 動作状況によっては音とびが発生する場合があります。音とびを極力防ぐため、MDへ録音するときは、録音に関係ないソフトウェアはすべて終了させてください。

その他のトラブル

? バッテリパックを充電してもすぐに空になる

- バッテリパックを初期化してください。(☞76ページ)

? 日本語の入力ができない

- 日本語入力システムがオンになっているか確認してください。(☞94ページ)

? 日付と時刻が正しく表示されない

- 「コントロールパネル」の「日付と時刻」で設定し直してください。

? ハードウェア(デバイス)が使用できない

- 以下の手順に従って操作してください。
  ① スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックします。
  ② 「システム」アイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
  ③ 対応するデバイスをクリックし、[プロパティ]をクリックします。
  ④ 「このハードウェア環境で使用不可にする」をクリックしてチェックマークを外します。

? 音が鳴らない

- パソコン前面の音量調節ボタンで、音量が最小になっていないか確認してください。
- Windows 98のボリュームコントロール(マスタ音量)やCDの再生ソフトなどで、音量が最小、またはミュートに設定されていないか確認してください。

? 音がとぎれる

- インターネットビューカムのPCカードアダプタを装着すると音がとぎれる場合があります。このときは、パソコンの電源を入れる前に、PCカードアダプタを装着してください。

? 電源が切れない

- キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けない（☞160 ページ）の操作をしてください。

? クイックスタートボタンやメール着信ランプ（ボタン）を押して起動したとき、「ネットワークパスワードの入力」画面で停止する

- 以下の手順に従って操作してください。
  ① スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
  ②「パスワードの変更」タブをクリックし、「Windows パスワードの変更」をクリックします。
  ③「パスワードの変更」画面で、「古いパスワード」に現在使用中のパスワードを入力し、「新しいパスワード」に何も入力しないで［OK］をクリックします。
  ④［OK］をクリックし、［閉じる］をクリックします。
  ⑤「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
  ⑥「優先的にログオンするネットワーク」で「Windows ログオン」を選択して、［OK］をクリックします。
  ⑦「システム設定の変更」画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

? 本体が熱くなる

- バッテリ充電中に、バッテリパックおよびその周辺やキーボードの手前側が熱くなることがありますが、故障ではありません。

?「リソース不足」のメッセージが表示される

- 起動中の不要なアプリケーションソフトを終了してください。
- 不要なアプリケーションソフトを終了しても「リソース不足」と表示されるときは、不要な常駐アプリケーションソフトを終了してください。

① スタートメニューから「プログラム」－「アクセサリ」－「システムツール」－「システム情報」をクリックします。

② 「ツール」をクリックし、「システム設定ユーティリティ」をクリックします。

③ 「スタートアップ」タブをクリックします。

④ 下記の中で不要なアプリケーションソフトをクリックしてチェックマークを外します。（下記以外のアプリケーションソフトのチェックは変更しないでください。正常に動作しなくなることがあります。）

- Microsoft Office Startup

⑤ ［OK］をクリックします。

⑥ ［はい］をクリックします。
Windows が再起動します。

前面操作部

電源ボタン（☞17ページ）
ディスプレイ（☞100ページ）
クイックスタートボタン（☞98ページ）
キーボード（☞94ページ）
マイク
パッド型ポインティングデバイス（☞82ページ）
音量調節ボタン（☞52ページ）
ステレオスピーカ

前面操作部（つづき）

電源/バッテリ/バッテリ状態ランプ（☞次ページ）

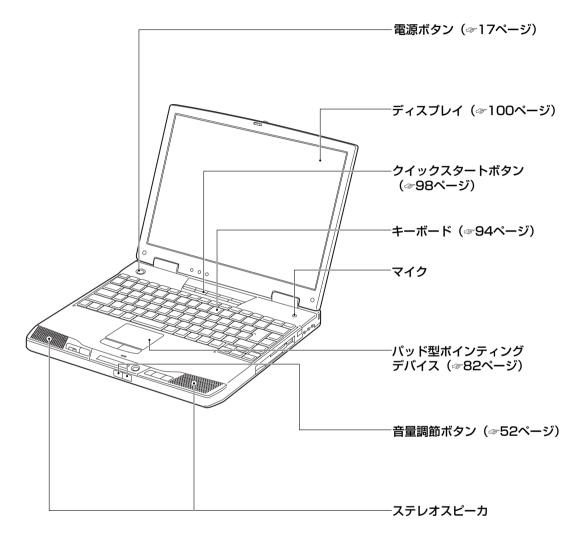
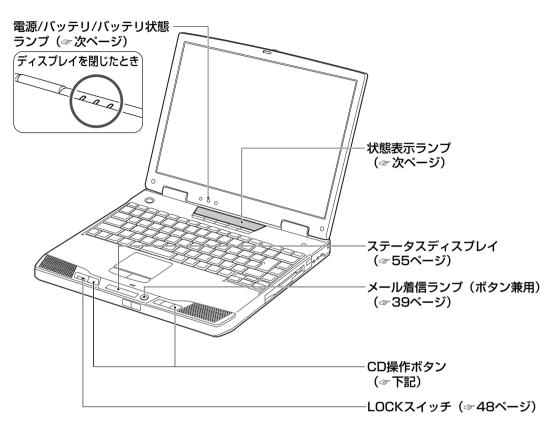
ディスプレイを閉じたとき

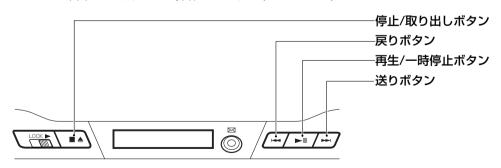
状態表示ランプ（☞次ページ）

ステータスディスプレイ（☞55ページ）

メール着信ランプ（ボタン兼用）（☞39ページ）

CD操作ボタン（☞下記）

LOCKスイッチ（☞48ページ）

CD 操作ボタン

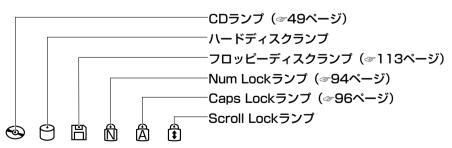
音楽 CD をボタンで操作できます。（☞54 ページ）

電源／バッテリ／バッテリ状態ランプ

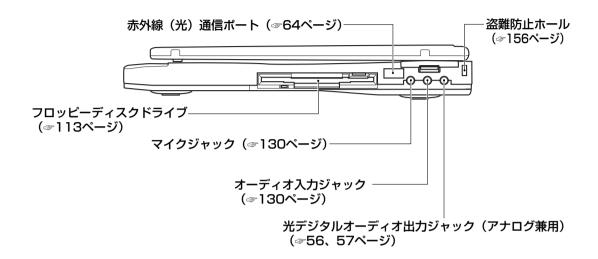
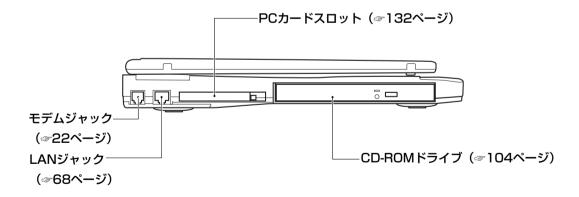
パソコンをACアダプタで使用しているかバッテリで使用しているかが分かります。バッテリの状態は、バッテリ状態ランプが示します。

電源ランプ	緑点灯	AC アダプタを使って動作している。
	緑点滅	スタンバイ状態（AC アダプタ使用時）
バッテリランプ	緑点灯	バッテリパックを使って動作している
	緑点滅	スタンバイ状態（バッテリ使用時）
バッテリ状態ランプ	緑点灯	バッテリが満充電されている。
	オレンジ点灯	バッテリを充電中。
	オレンジ点滅	バッテリまたはパソコンの充電回路に異常がある。
	赤点滅	バッテリ残量が非常に少ない。同時に警告音が鳴ります。

状態表示ランプ

CD、ハードディスク、フロッピーディスクドライブにアクセス中に点灯するランプと、キーボードの入力モードを表示するランプがあります。

ご注意

の各ランプが点灯中は、電源を切らないでください。データが失われたり破壊されることがあります。

右側面

左側面

ドライブで使用可能なディスク

ディスク 内蔵ドライブ	CD-ROM	CD-R/RW		DVD-ROM
	読み出し 再生	読み出し 再生	書き込み	読み出し 再生
CD-ROM	○	○	×	×
CD-R/RW(別売)	○	○	○	×

後面

PS/2コネクタ
（☞119ページ）
通風孔（冷却ファン）
（☞4ページ）
ディスプレイコネクタ
（☞123ページ）
USBコネクタ
（☞119ページ）
ACアダプタジャック
（☞16ページ）
S映像出力コネクタ
（☞120ページ）
RS-232Cコネクタ（☞119ページ）
プリンタコネクタ（☞119ページ）

底面

通風孔
（☞4ページ）
バッテリパック
（☞72ページ）
リセットスイッチ（☞160ページ）

さくいん

記号・アルファベット

AC アダプタ 16
AC アダプタジャック 173
ASK 64
Caps Lock ランプ 171
CD（コンパクトディスク）
　CD-ROM 104
　CD-ROM ドライブ 172
　入れ方 49、104
　お手入れ 111
　音楽 CD 48
　関連するトラブル 162
　出し方 51、106
　取扱い 110
CD-R/RW
　CD-R 109
　CD-R/RW ドライブ 107
　CD-RW 109
　お手入れ 111
　関連するトラブル 162
　推奨ディスク 109
CD 操作ボタン 52
CD ランプ 171
CRT ディスプレイ 123
E メール 「電子メール」参照
FD 「フロッピーディスク」参照
IrDA 64
ISDN 回線 22、132
LAN ケーブル 68
LAN ジャック 68、172
Lock スイッチ 44、48、107
MD（ミニディスク） 57、166
Num Lock ランプ 171
PC カード
　PCMCIA 132
　PC カードアダプタ 63、132
　PC カードスロット 62、172
　差し込む 133
　種類 132
　取り出す 134
PS/2 コネクタ 119
RAM ボード 136
RS-232C コネクタ 119
Scroll Lock ランプ 171
S 映像出力コネクタ 120
TA（ターミナルアダプタ） 132
USB コネクタ 119
Windows 起動時のトラブル 158

ア行

アナログ回線端子 22
アナログ音声の入力 130
アンプ付きスピーカ 56
色数 100
インストール
　ドライバソフト 122、145
インターネット
　接続する／接続を切る 32
　インターネットビューカム 63
　プロバイダ 20
印刷する 121
オーディオ入力ジャック 130、172
お手入れ
　CD（コンパクトディスク） 「CD」参照
音楽 CD
　再生する 49
　トラック番号 53
音声を入力する
　アナログ音声入力 130
　オーディオ機器から 130
　外部マイクから 130
音量調節
　音量調節ボタン 54
　外部スピーカ 56

ステレオスピーカ 54、169
デジタル音声出力 57
デジタル録音 59
「マスタ音量」画面 55

カ行

解像度 100
書き込み禁止タブ 112
画面 「ディスプレイ」参照
壁紙 102
キーボード
関連するトラブル 160
使う 94
キーワード検索
ホームページ 32
休止状態 79
クイックスタートボタン 169
クリック 83、90
携帯情報ツール 64
コア 22、68
コネクタの形状 118
コンパクトディスク 「CD」参照

サ行

システムスタンバイ状態 79
シャープ True Type フォント 142
周辺機器
使用時のトラブル 165
接続する 120
省電力機能 78
初期値に戻す 154
シリアルインタフェース 119
新着メールを読む 45
数字キーロックモード 94
スクロール 85
スタンバイ状態 79
ステータスディスプレイ 53
スピーカ
アンプ付きスピーカ 56
ステレオスピーカ 169
スマートメディア 63
赤外線通信 64
赤外線（光）通信ポート 172
セットアップユーティリティ 146
増設 RAM ボード 136

タ行

ダブルクリック 83、90
ターミナルアダプタ 「TA」参照
通信
LAN 68、70
インターネット 20
関連するトラブル 163
赤外線通信 64
通風孔 4
ディスプレイ
明るさを変える 100
色数を変える 100
解像度を変える 100
壁紙を変える 102
情報を設定する 125
ディスプレイコネクタ 119
同時に表示する 128
表示先を切り替える 127
画面表示に関するトラブル 159
マルチモニタ機能 128
データ
CD-R/RW に書き込む 109
通信 61
取り込む 63
ハードディスクに保存 79
フロッピーディスクに保存 112
保存する 109、112

デジタル
音声出力 57
画像を取り込む 63、131
デジタルカメラ 63
テレビ
接続する 124
設定する 125
テンキーロックモード
「数字キーロックモード」参照
電源
入れたときのトラブル 158
入れる 16
切る 18
電源の管理 78
電源ボタン 17
電源ランプ 170
電子メール
受け取る 37
送る 34
メールアドレス 34
メール着信ランプ 39
メールチェック機能 39
電話回線
構内電話機(PBX) 30
接続する 22
発信番号の設定 30
変更する 27
盗難防止ホール 156、172
ドライバソフト 122、145
ドラッグ 83、91
ドラッグアンドドロップ 83、91

ナ行

日本語入力システム 94
ネットワーク(LAN) 68、70

ハ行

パスワード
パソコン起動時用 150
ハードディスク
関連するトラブル 162
電源を切る 78
ハードディスクランプ 171
ハブ(LAN) 68
発信番号 30
バッテリパック
交換する 77
残量確認 73
充電する 72
初期化する 76
バッテリ警告音 171
バッテリ状態ランプ 75、170
バッテリランプ 170
パッド 82
パッド型ポインティングデバイス 82
パラレルインタフェース 119
光デジタルオーディオ出力ジャック 172
光通信 「赤外線通信」参照
フォーマット
フロッピーディスク 114
フォント
シャープTrue Typeフォント 142
ブラウザソフト 32
プリンタ
接続する 121
プリンタコネクタ 119
フロッピーディスク
関連するトラブル 161
取り扱いについて 115
初期化する 114
フォーマット 114
フロッピーディスクドライブ 172

フロッピーディスクランプ 171
保存する 112
プロバイダ 20
ヘッドホン 129
ポインタ 82
ポイントする 82
ポインティングデバイス 82
ホームページ 32

マ行

マイク
外部マイク 130
内蔵マイク 169
マイクジャック .... 130、172
マウス
PS/2 ／ USB マウス 119
ワイヤレスマウス 86
右クリック .... 83、91
メモリ
増設する 136
容量の確認 140
メール ....「電子メール」参照
メール着信ランプ（ボタン） .... 39、170
文字入力 94
モジュラージャック 22
モデム 24
モデムジャック .... 22、172

ラ行

リセットスイッチ 173
リンク
パソコンリンク 57
ホームページ 32
冷却ファン 173
録音
CD から MD に 57
録音前の確認 57

ワ行

ワイヤレス LAN カード 70
ワイヤレス LAN ステーション 70